

神栖市地域医療体制検討委員会 議論のまとめ

令和 2 年 3 月

神栖市地域医療体制検討委員会

はじめに

当市においては、大変憂慮すべき医師不足状況が続いてきた中、医療資源を集約し地域医療の再構築を図ることを目指し、鹿島労災病院と神栖済生会病院の再編統合が進められました。これにより、2019年3月31日に鹿島労災病院が廃止され、同年4月1日に神栖済生会病院に統合されました。鹿島労災病院の跡地には同年7月1日に分院が開院され、神栖済生会病院本院においては、現在、できる限り早期の新拠点病院の実現に向けた検討が進められております。

一方、このような中であっても、人口当たりの医療機関数においては、他地域との、あるいは市内の格差や偏在が見られることから、市民に安全安心な医療体制を提供するためには、新拠点病院の整備を見据えつつ、急性期医療から回復期、慢性期、在宅医療に至るまでのバランスのとれた医療体制づくりへの対応が求められているところです。

このような背景のもと、改めて当市の医療体制の現状を調査・分析し、課題を洗い出すとともに、課題に対する対策・方向性を検討することとし、「神栖市地域医療体制検討委員会（以下、「委員会」という。）」を立上げ、2019年7月より計4回の委員会を開催し検討してまいりました。検討に当たりましては、茨城県後期高齢者医療広域連合の後期高齢者保険レセプトデータ、国民健康保険レセプトデータ、消防本部の救急搬送データの提出をいただくとともに、市民アンケート調査、企業アンケート調査、医療機関アンケート調査に御協力をいただきながら調査分析を実施いたしました。また、市内外の医療関係者の方々に御参集いただき、意見交換会を開催し、貴重なご意見を頂戴することができました。御協力を賜りました皆様に心からお礼申し上げる次第です。

これまでの委員会での討議等を踏まえ、神栖市地域医療体制の課題とその対策・方向性について次のとおり委員会からの提案というかたちで、取りまとめていただくことができました。

なお、この報告書に掲げる対策・方向性については、市が担う対策・方向性のみではなく、病院や診療所、歯科診療所、消防本部等の各関係機関、医療を必要とする市民等がそれぞれの立場から自律あるいは連携して積極的に対応していくことが期待されるものであります。

神栖市長
石田 進

目 次

I. 基本的な考え方（総論）	1
II. 神栖市地域医療体制における課題と対策・方向性	2
神栖市における地域医療体制の現状・将来推計等の概要	2
個別の課題と対策・方向性	4
1. 急性期医療提供体制の強化	4
2. 救急医療提供体制の強化	7
3. 回復期・慢性期機能の充実（転院先・逆紹介先の確保）	10
4. 在宅医療提供体制の充実	11
5. 医療機関不足・偏在緩和への対応	13
6. 医療機能の分化（役割分担）・連携の推進、ICT 等への対応	15
7. 医師不足・医療従事者不足への対応	17
8. 市民・企業への対応・市民等の主体的参加や貢献	18
9. その他	20
III. 今後の対応	21
おわりに	22
神栖市地域医療体制検討委員会 名簿	24
資料編	25
アンケート調査結果	58

I．基本的な考え方（総論）

医療体制の検討に当たっては、現状や課題をよく認識するとともに、市民や企業、医療機関等の意見などを踏まえつつ、あるべき姿や目標を描いていくことが大切である一方、神栖市の限られた医療資源等の厳しい現実等を踏まえ、実効性を伴う対策を講じていけるようにすることが肝要である。

特に、神栖市の地理的・地形的な特性や制約、医師や医療スタッフ確保の困難性、市外にも依存している受療動向などの実情を踏まえると、市内完結型ではなく、広域的な連携や役割分担を前提としつつ、限られた資源を最大限に生かせるような医療体制の整備充実のための対策・方向性を検討することが重要になってくる。

この委員会においては、そのような視点に立って対策・方向性を検討し、基本的には、地域の乏しい医療資源の増、充実化に向けての方策を示したところである。今後、様々な対策・方向性のより具体的な検討や実行にあたっては、あるべき姿や理想像を追求していく姿勢を保持しつつも、現実_に立脚したバランス感覚を失うことなく、医師会や歯科医師会、各医療機関、医療従事者、市民、行政・消防本部等の関係者が最も有効かつ現実的で、なおかつ最大限の成果をあげることができる解決策を連携・協力して講じていくことが不可欠である。

Ⅱ．神栖市地域医療体制における課題と対策・方向性

《神栖市における地域医療体制の現状・将来推計等の概要》

(※詳細は資料編 P25 以降を参照)

神栖市における地域医療体制の現状、将来推計患者数、アンケートに見る市民や企業の意識等の概要は以下のとおりである。これらを基本としつつ、分野別の現状、課題を踏まえ、次節以降において、急性期医療から回復期、慢性期、在宅医療等についての課題と対策・方向性を検討する。

- 神栖市には、病院が 4 施設、診療所が 28 施設の合計 32 の医療機関が所在する。
そのうち、DPC 対象病院は、神栖済生会病院（準備病院）、白十字総合病院（準備病院）の 2 施設のみある。（P29 参照）
- 神栖市の人口 10 万人当たりの診療所数は約 29 施設であるのに対し、隣接する鹿嶋市は約 42 施設である。（参考：茨城県は約 49 施設）（P31 参照）
- 神栖市の外来患者数は、将来的にはほぼ横ばい（微増）で推移することが予測される。
入院患者数については、市民の高齢化に比例して将来的に増加することが予測され、2035 年頃には、対 2015 年比で約 120%程度まで増加し、その後も 2045 年頃までは同水準で推移することが予測される。（P35～36 参照）
- 神栖市の将来救急搬送件数は、高齢者の増加に伴い、「軽症」は微増、「中等症」・「重症」・「死亡」は増加することが予測される。（P44 参照）
- 神栖市で発生した外来患者の約 69%が市内の医療機関を受診しており、約 31%が市外の医療機関を受診している。（P47 参照）
- 神栖市で発生した入院患者の約 46%は市内の医療機関を受診しており、主な受診先は白十字総合病院、神栖済生会病院、渡辺病院、鹿嶋ハートクリニック等である。
一方、入院患者の約 54%が市外の医療機関を受診している。（P47 参照）

- 市内で発生した救急搬送患者は、約 57%が市内医療機関に搬送され、約 43%が市外医療機関に搬送されている。(P43 参照)
- 白十字総合病院や神栖済生会病院は、市内からの救急搬送だけでなく、広域的な救急患者受入機関としての役割を果たしている。また、神栖済生会病院は小児救急患者を多く受入れている。(P46 参照)
- 市民アンケート調査では、「現在、定期的に通院している」と回答した人の割合が約 55%、「ここ 1 年以内に医療機関を外来受診したことがある」と回答した割合は約 33%であった。そのうち市内の医療施設を受診している人は約 74%、市外の医療機関を受診している人は約 26%であった。(P60 参照)
- 市民アンケート調査では、「ここ 1 年以内に入院したことがある」と回答した割合は約 6%であり、そのうち、一番長く入院した医療機関について、市内は約 29%、市外（茨城県内）は約 23%、市外（茨城県外）は約 48%であった。また、入院患者のうち手術を行った人は、約 65%であった。(P60 参照)
- 2019 年茨城県市町村別健康指標によれば、神栖市の標準化死亡比は、男女ともに全国に比して有意に高いと示されている。男性は、急性心筋梗塞、脳梗塞、肝及び肝内胆管の悪性新生物、脳血管疾患など 13 指標中 9 指標が全国に比して有意に高く、女性では悪性新生物、脳梗塞、脳血管疾患、急性心筋梗塞、肺炎など 15 指標中 6 指標が全国に比して有意に高いと示されている。(P53 参照)
- 国保・後期高齢者レセプトデータや将来入院患者数推計等を用いた試算では、2030 年時点で、新拠点病院が整備され、かつ済生会土合クリニックの病床が稼働したとしても、神栖市外の医療機関を受診する 1 日当たり入院患者数は、約 362 人/日と推計される。(P56～57 参照)

《個別の課題と対策・方向性》

神栖市地域医療体制における個別の課題と対策・方向性は以下のとおりである。

1. 急性期医療提供体制の強化

【対策・方向性】

- (1) 神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合による「新拠点病院」の確実な整備を促進する。そのために、市、県、医師会、歯科医師会、医育機関と連携し、積極的に支援を行う。
- (2) 新拠点病院にて、市民・企業も充実を望んでいる「急性期医療」の提供を実現する。
- (3) 白十字総合病院や神栖済生会病院（新拠点病院）、鹿嶋ハートクリニック等の急性期医療を担っている医療機関相互の「役割分担」・「限られた医療資源の効率的活用」の明確化を図る。
- (4) 医療圏外の高度急性期病院との病・病連携機能の更なる強化を図る。
- (5) 外来診療は地域の診療所が中心となって対応する体制を構築する。より一層の病・診連携機能の強化を図る。

【現状・課題】

- 神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合に伴う新病院等整備のための基本構想（2017年4月）にて、神栖済生会病院を新拠点病院として整備することが計画されている。新拠点病院は、地域の中核病院として、急性期医療の充実に努めるとされている。（P54 参照）
- 市民アンケートの結果では、神栖市民の多くが「救急医療」や「がん医療」、「脳疾患医療」、「心疾患医療」といった急性期医療の充実に望んでいる。（P62 参照）
- 市民アンケートの結果では、約 69%の市民が神栖市の医療環境に満足していない旨を回答し、その主な理由として「医療機関の質に不安がある」、「高度・専門的な医療ができる医療機関がない」等と示しているように、高度急性期、急性期医療体制の整備が望まれている。（P61 参照）

- 医療機関アンケートの結果では、診療所からの「紹介先」として、「急性期病院」の必要性が最も高いことが読み取れる。(P69 参照)
- 企業アンケートの結果では、82%の企業が神栖市の医療環境に満足していない旨を回答し、その主な理由は「高度・専門的な医療ができる医療機関がない」、「医療機関の質に不安がある」等と回答しているように、高度急性期、急性期医療体制の整備が望まれている。(P66 参照)
- 神栖市で発生した重症の心筋梗塞、脳卒中、がん診療、交通外傷などの高度急性期入院患者の約 27%が市内の医療機関を受診している。主な受診先は神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニックである。
一方、高度急性期入院患者の約 73%が市外の医療機関を受診しており、主な受診先は、国保旭中央病院、小山記念病院、島田総合病院等である。(P48 参照)
- 神栖市で発生した中等症の心筋梗塞、脳卒中、がん診療、交通外傷などの急性期入院患者の約 54%が市内の医療機関を受診しており、主な受診先は神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック等である。一方、急性期入院患者の約 46%が市外の医療機関を受診している。主な受診先は、国保旭中央病院、小山記念病院、島田総合病院等である。(P48 参照)
- 特に、高度急性期・急性期入院患者の①がん疾患、②循環器系の疾患、③損傷、中毒及びその他の外因の影響、④腎尿路生殖器系の疾患、⑤消化器系の疾患、⑥眼及び付属器の疾患に係る患者の市外受診件数が多い。(P50 参照)
- 市民の外来診療施設の受療動向を見ると、第二圏域では、外来患者の受診先を病院とする割合が第一、第三圏域よりも高く、病院受診者のうち約 44%が神栖済生会病院である。今後、神栖済生会病院が急性期機能を強化するに伴い、これらの患者のうち、軽症外来患者の受け皿が必要になると考えられる。(P51 参照)

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 新拠点病院を確実に整備することの重要性及び市をはじめ関係者が連携協力して支援していくことの必要性が提言された。

- 市内で全ての医療を完結するのではなく、限られた資源を有効活用し、広域的な連携や役割を前提とした医療提供体制を構築することが重要とする考え方が示された一方、ある程度市内における高度急性期医療機能の整備が望まれていることを確認した。

2. 救急医療提供体制の強化

【対策・方向性】

- (1) 神栖済生会病院（新拠点病院）・白十字総合病院・鹿嶋ハートクリニック等の救急医療機関にて、「疾患別・事故種別」に「受入体制強化」や「連携強化の具体的な方法」、「役割分担」について検討する。
- (2) 三次救急医療機関や鹿行医療圏内の救急医療機関との役割分担を踏まえつつ、市内救急医療機関において、「24 時間 365 日体制による二次救急医療体制」の整備を目指す。
- (3) 新拠点病院では、医療機関までの到着時間が特に重要となる脳疾患や心疾患、交通外傷等における救急受入体制を整備する。また、交通外傷等への対応のために、歯科口腔外科の設置を検討する。
- (4) 不応需を減少させるために、軽症にあつては、夜間や休日の受入体制の強化を、中等症や重症では、心疾患・脳疾患、呼吸器系疾患などの急病や一般負傷、交通事故等の受入体制の強化を図る。
- (5) 「鹿行南部地域休日初期急患センター」の検証及び再検討を行う。他市の成功事例等を研究し、必要に応じて「一次救急受入施設（例：休日・夜間急患センター）」を設置・誘致することを検討する。
- (6) 夜間に発生する救急搬送を各医療機関に適切に振り分ける「コーディネーター」の配置を検討する。
- (7) 各医療機関従事者や救急隊向けの訓練や教育の向上を図る。

【現状・課題】

- 神栖市の将来救急搬送件数は、高齢者の増加に伴い、「軽症」は微増、「中等症」・「重症」・「死亡」は増加することが予測される。（再掲）
- 2018 年に神栖市で発生した救急搬送件数は 3,558 件であり、うち神栖市内の医療機関に収容された件数は 2,009 件（約 57%）である。
一方、神栖市外の医療機関に収容された件数は 1,549 件（約 43%）である。（P43 参照）

- 神栖市で発生した救急搬送患者は、市内であれば神栖済生会病院や白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック等に搬送されており、市外であれば小山記念病院（鹿嶋市）や国保旭中央病院（千葉県旭市）、島田総合病院（千葉県銚子市）等の医療機関に搬送されている。（P43 参照）
- 重症患者については、鹿行医療圏域外の千葉県内の医療機関（国保旭中央病院や日本医科大学千葉北総病院、成田赤十字病院）への搬送件数が多い。（P43 参照）
- 高度急性期医療機関である国保旭中央病院に多くの軽傷・中等症の救急患者が搬送されている。（P43 参照）
- 鹿島地方事務組合消防本部における救急搬送の課題である搬送時間について見ると、不応需の回数との相関関係が見られる。不応需の多い疾患では、心疾患等や精神系、脳疾患等が挙げられ、不応需回数が多いほど、搬送時間が長い傾向にある。（P45 参照）
- 市民アンケートの結果では、約 69%の市民が神栖市の医療環境に満足していないと回答し、最も多かった理由は「救急医療機関が少なく、急な病気や怪我が不安である」であった。（P61 参照）
- 市民アンケートの結果では、神栖市民が充実を希望する医療体制の最上位が「救急医療」である他、「夜間診療の実施」も上位に挙がっている。（P62 参照）
- 企業アンケートの結果では、各企業が充実を希望する医療体制の最上位が「救急医療」である他、「夜間診療の実施」も上位に挙がっている。（P67 参照）

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 新拠点病院だけで市内で発生する救急患者を全て受入れることは困難であり、市内医療機関連携による体制整備の重要性、また、具体的な疾患毎の受け入れ強化検討の必要性が指摘された。
- 特に、既に検討が開始されている「循環器疾患救急受入体制検討会」の更なる充実及びその他の疾患への応用が提言された。
- 救急の現場においては、将来の体制整備以上に、現有資源の中で、いかに最大限の働きをさせることが大切であるかの認識が示された。
- 地域の医療機関が互いの状況を理解するとともに、地域医療が抱える課題及び対応策について、関係機関が一堂に会して、話し合う場を持つことの意義・重要性が提言された。
- 二次救急は可能な限り市内の医療機関にて受入れ、三次救急については高度急性期医療機関に搬送することが望ましいことが再確認された。
- 医科・歯科連携の強化を念頭に、新拠点病院に交通外傷等にも対応できる「歯科口腔外科」の設置が望ましいと提言された。
- 市内救急医療機関の負荷を軽減し、二次救急医療機関の疲弊を回避するために、休日・夜間（軽症）急患センターを設置すべきと提言された。
- 市内の限られた医療資源を有効活用し、患者のたらい回しを回避するためにも、救急搬送患者を適切な医療機関に振り分ける「コーディネーター」の配置が必要ではないかと提言された。
- 現在、消防にて救急隊に対する訓練や教育を実施中であるが、救急搬送時間の更なる短縮等のためには、医療従事者や救急隊の一層の質の向上に努める必要がある旨の提言があった。

3. 回復期・慢性期機能の充実（転院先・逆紹介先の確保）

【対策・方向性】

- （１） 回復期・慢性期機能を担う「後方受入体制」の強化を図る。
- （２） 必要に応じて、介護施設も含めた回復期・慢性期を担う後方連携施設の設置・誘致することを検討する。

【現状・課題】

- 神栖市内で現状、療養病床を有する医療機関は４施設（合計 359 床）、回復期病床を有する医療機関は１施設（合計 40 床）である。（P29 参照）
- 2017 年度茨城県病床機能報告によると、神栖済生会病院が保有する 39 床の療養病床は休棟中であり、新拠点病院が「急性期医療」を担う医療機関を目指すことを鑑みると、新拠点病院が「療養病床」を継続して運用するとは考え難く、神栖市内の療養病床が減少する可能性がある。（P29 参照）
- 神栖市内では、白十字総合病院が唯一、「回復期病床（40 床）」を整備している。（P29 参照）
- 神栖市で発生した回復期入院患者の約 34%、慢性期入院患者の約 54%が市外の医療機関を受診している。（P49 参照）
- 新拠点病院は、急性期病院に求められる、「平均在院日数を短縮しつつ、高い病床利用率を維持する」を実現する必要がある、そのためには、回復期・慢性期といった後方連携病床が必要不可欠となる。

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 急性期を脱した患者の転院先を探すことも大変な現状であることを鑑み、回復期・慢性期患者の受け皿も市内に整備することが必要ではないかと提言された。
- 救急医療や急性期医療の充実に努めるとしている新拠点病院において、より円滑な病床管理を行う為にも、後方バックアップ体制の構築も課題であることを確認した。

4. 在宅医療提供体制の充実

【対策・方向性】

- (1) 在宅医療のニーズに応えるため、必要に応じて、在宅医療を提供する施設を設置・誘致することを検討する。
- (2) 医療機関アンケートにて示された在宅医療実施に当たっての人材確保や採算確保に係る課題について、他市における在宅医療成功事例の研究などの対策を講じることを検討する。
- (3) 「開放病床」の設置を検討し、在宅患者急変時のバックアップ体制を構築する。
- (4) 市や病院、診療所に限らず、訪問看護ステーションや介護・福祉関連施設、薬局、歯科診療所等が連携し、「包括的な在宅医療提供体制」を構築する。
- (5) 市内の在宅医療提供体制の充実を促進し、若手医師に対して大学等と連携して「在宅医療を教育」できる体制を整備する。
- (6) 「在宅医療」・「かかりつけ医」を市民に周知するための広報活動を実施する。

【現状・課題】

- 神栖市内で在宅医療を提供している医療機関は 13 施設である。人口 10 万人当たりの施設数で見ると、神栖市は約 14 施設であり、土浦市の約 21 施設や取手市の約 19 施設、水戸市の約 18 施設を下回っている。(P32～33 参照)
- 国（厚生労働省）は、予てから在宅医療の普及を推進しており、高齢化が進む当市においても、在宅医療の需要は増すことが予測される。
- 医療機関アンケートの結果では、在宅医療の実施に当たっては、「スタッフがいらない」、「採算がとれない」という課題認識が示されている。(P69 参照)
- 市民アンケートの結果では、回答者の約 58% (921 件) が「もし何らかの理由で通院が困難になった場合、自宅に訪問してもらって診療してもらうこと」を「希望する」と回答している。(P61 参照)

- 市民アンケートの結果では、回答者の約 36%（647 件）がかかりつけ医は「いない」と回答している他、在宅医療を希望するかという問いには、32.4%（518 件）が「わからない」と回答している。（P59 参照）
- 市民アンケートの結果では、回答者の約 45%（790 件）が「人生の最期を自宅で迎えたい」と回答している。（P62 参照）

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 市内診療所に勤務する医師の所感として、在宅医療のニーズはあると思われるとの見解であった。
- 一方で、アンケート結果では「スタッフがいない」、「採算がとれない」という課題認識が示された他、診療所単独で一般外来と在宅医療を対応するには限界があるとの見解が示され、「開放病床」といった病院のバックアップ体制は、在宅医療を提供するにあたって極めて有効であることが確認された。
- 医師だけで在宅医療に対応することは困難であるため、訪問看護等を含めた包括的な在宅医療を提供できる体制の構築が必要であると提言された。
- 現有資源でも、在宅医療の教育先進地になれる側面があることを生かし、研修医をトレーニングできる環境・体制を整備することが必要であると提言された。

5. 医療機関不足・偏在緩和への対応

【対策・方向性】

- (1) 「済生会土合クリニック」が当初計画していた医療機能を提供するための支援を行う他、認知度の向上を図る。
- (2) 医療モールの整備等を通じて、診療所の誘致を促進（例：施設は行政が整備し、安価で提供する等）する。
- (3) 生活圏域内に必要な在宅医療提供施設等の誘致を促進する。

【現状・課題】

- 将来患者推計によれば、外来患者については、第一圏域では 2025 年頃まで微増で、その後 2045 年には約 93%に減少すると見込まれ、第二圏域では 2030 年まで微増、その後減少に転じ、2045 年には約 95%になると見込まれ、第三圏域では 2030 年に約 110%に増加し、2045 年にあっても 106%程度で推移すると見込まれる。(P37～39 参照)
- 入院患者推計によれば、第一圏域では 2030 年に約 116%に増加し、2045 年では約 114%、第二圏域では 2030 年に約 118%に増加し、2045 年は約 115%、第三圏域では 2035 年に 130%、2045 年に約 130%と、いずれの圏域も現状より増加して推移することが見込まれる。(P40～42 参照)
- 人口 10 万人当たりの診療所数について見ると、第一圏域は約 43 施設、第二圏域は約 16 施設、第三圏域は約 25 施設である。(P31 参照)
- 第三圏域に所在した鹿島労災病院の廃止後、第三圏域で発生した入院患者が市内医療機関に入院した「充足率」は、約 43%から 35%に減少しており、約 65%の入院患者が市外の医療機関を受診していることになる。
同様に外来患者が市内医療機関を外来受診した「充足率」は、約 58%から 56%に減少している。主な受診先は、永木外科胃腸科医院 (5.8%→6.3%) や渡辺病院 (5.7%→6.1%) の他に、神栖済生会病院 (7.7%→10.9%) や島田総合病院 (5.5%→5.9%) 等である。(P52 参照)

- 市民の外来診療施設の受療動向を見ると、第二圏域では、外来患者の病院での受診割合が第一、第三圏域よりも高く、病院受診者のうち約 44%が神栖済生会病院である。今後、神栖済生会病院が急性期機能を強化するに伴い、これらの患者のうち、軽症外来患者の受け皿が必要になると考えられる。（再掲）

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 済生会土合クリニックについては、徐々に外来患者は増えてきているが、今後も継続した努力が必要との見解が示された。
- 全ての診療科や医療機能の整備を新拠点病院に期待するのではなく、行政が主体となって医療モール等を整備し、医療機関不足を補い、新たな医師を市内に招聘することが必要であると提言された。
- 第三圏域に所在する診療所に勤務する医師の所感として、在宅医療のニーズはあると思われるとの見解であった。

6. 医療機能の分化（役割分担）・連携の推進、ICT 等への対応

【対策・方向性】

- (1) 「開放病床」の設置を検討し、診療所の「かかりつけ医」と病院の「主治医」による共同での診療（共同診療）を提供する。
- (2) 病病・病診連携機能の促進を図るために、医療機関アンケートでも要望の挙がった「高度医療機器の共同利用」を促進する。
- (3) 新拠点病院の整備に合わせて、病病・病診連携機能の促進を図るための、「地域連携システム」の構築・強化を図る。
- (4) 地域の歯科診療所との「医科・歯科連携機能」をより一層強化し、一般患者はもちろんのこと、高齢者や認知症患者、在宅患者等に総合的な「口腔ケア」を提供できる体制を構築する。
- (5) 市内の医療機関が主体となり、急性期や救急といった様々な分野における医療連携や医療の質の向上に資する ICT（Information and Communication Technology（情報通信技術））や IoT（Internet of Things（モノのインターネット））、AI（Artificial Intelligence（人工知能））等を活用した、医療情報システムの構築・活用を促進する。また、そのために必要な医療情報技師等、医療情報システムに精通した人材を育成・確保する。

【現状・課題】

- 医療機関アンケートの結果では、今後の診療所の課題解決のために必要な地域連携の項目として、「開放病床（オープン病床）」、「CTなどの高度医療機器の共有」、「定期的な連携先との講習会」、「遠隔診断」等があげられている。（P69 参照）
- 多職種連携を前提に、病院、医科診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所が情報を双方向で共有するシステムである「さどひまわりネット（新潟県）」や「晴れやかネット（岡山県）」等、「連携の促進」や「在宅医療対策」、「救急医療対策」等を目的とした、「医療情報ネットワーク」の構築が全国の自治体等で進められている。

- 企業アンケートによれば、約 27%の企業が「IT ツールを使った労働時間や健康の管理」を行っていると回答している。医療分野でも、現時点において既に AI（人工知能）の活用が注目されている等、医療情報分野の進展は目覚ましいものがある。（P65 参照）

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 「開放病床」といった病院のバックアップ体制は、在宅医療を提供するにあたって極めて有効であることが確認された。（再掲）
- 一般患者はもちろんのこと、今後増加することが予測される高齢者や認知症患者、在宅患者等に対して、医科のみでなく、歯科も含めた総合的なケアが必要になることから、新拠点病院を中心とした、医科・歯科連携強化の必要性が提言された。
- 市内の医療機関にて「患者情報等」を共有したり、限られた医療資源を有効活用できる仕組みとして、また、教育研修環境の向上のために医療情報システムの構築・活用・促進が必要であると提言された。
- 患者の画像を遠隔診断するなどの連携体制を構築し、医師が安心して働ける環境づくりも、今後新たな医師をリクルートする観点では、必要不可欠であることが確認された。

7. 医師不足・医療従事者不足への対応

【対策・方向性】

- (1) ベテラン・中堅・若手医師確保の重要な要素である、「自分のスキルを発揮できる体制づくり」及び「大いに学べる教育・研修環境づくり」を促進する。そのためにも、「神栖市若手医師きらっせプロジェクト事業」の推進に努める。
- (2) 看護師や薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者確保対策の強化を検討する。

【現状・課題】

- 茨城県は、人口 10 万人当たりの医療施設従事者医師数は約 188 人（2018 年厚生労働省調べ）であり、全国平均の約 247 人を大きく下回っている。なお、鹿行医療圏については約 92 人、神栖市は約 91 人（2018 年茨城県調べ）となっている。（P53 参照）
- 市内医療機関、立地企業産業医、医療機関教員の参画のもと、指導医や専門医の確保、研修医や専攻医の受け入れのための体制強化を目指し、神栖市の教育研修体制の充実と積極的な情報発信を図る「神栖市若手医師きらっせプロジェクト」の取り組みがスタートしている。（P55 参照）

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 医師が働きたくなる魅力づくりは、究極は、医師の技量の発揮と働きがい、若手医師にとっては自身の勉強になる環境が不可欠であることが指摘された。
- 医師のリクルートはもちろんのことであるが、看護師不足により病棟を閉鎖している病院がある現状を鑑みると、看護師やその他のコメディカルスタッフの充足の必要性が提言された。
- 総合診療医の育成など、研修医をトレーニングできる環境・体制を整備することも、講師や研修医を集める上での重要な方法の 1 つであるとの提案があった。
- 医師の確保事業に限らず、既存の医療従事者確保事業等を一層、関係者に周知する必要性が提言された。

8. 市民・企業への対応・市民等の主体的参加や貢献

【対策・方向性】

- (1) 市民・企業の不安解消に資するよう、本報告書に掲げる各種の対策・方向性に沿った体制整備に努めるとともに、地域医療体制の現状や課題、現在や今後の取組等を市民にわかりやすく説明していくなど、地道な努力を継続する。
- (2) 市民・企業に市内の医療実情を理解いただくための情報提供を行う。
- (3) 市民の健康意識向上、健康診断の受診促進を啓発する。
- (4) 救急車の適正利用やかかりつけ医の必要性、コンビニ受診の抑制、在宅での看取り、健康診断の積極的受診等、より良い地域医療体制を構築できるよう、市民等の主体的参加や貢献について、広報活動や研修会等を通じて周知し、市民意識の啓発を図る。

【現状・課題】

- 市民アンケートの結果では、約 69%の市民が神栖市の医療環境に「あまり満足していない・満足していない」と回答しており、その主な理由は「救急医療機関が少なく、急な病気や怪我が不安である」、「医療機関の質に不安がある」、「高度・専門的な医療ができる医療機関がない」等である。(再掲)
- 市民アンケートの結果では、いずれの圏域においても、約 9 割が神栖市の医療機能について「不安を感じる」と回答しており、その理由として、「総合病院・基幹病院を整備してほしい（誘致してほしい）」、「救急医療（主に救急搬送の応需先）を充実させてほしい」が挙げられた。(P63 参照)
- 企業アンケートの結果では、82%の企業が神栖市の医療環境に「あまり満足していない・満足していない」と回答しており、その主な理由は「高度・専門的な医療ができる医療機関がない」、「夜間や休日に受診できる医療機関が少ない」、「医療機関の質に不安がある」等である。(P66 参照)
- 医療機関アンケートの結果では、今後の診療所の課題解決のために必要な地域連携の項目として、「定期的な連携先との講習会」等が挙げられている。(P69 参照)

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 各種課題の解決を地道に取り組むことが重要であり、地道に取り組むことで市民からの不安の声は解消していくと思われるとの提言があった。
- 不安を取り除き、安心を伝えるには、市民に市内の医療情勢の現状や本検討委員会での検討内容等を丁寧に説明することが必要と提言された。
- 医療を提供する側の対策ばかりではなく、健康診断の受診促進や救急車の適正利用など、医療を受ける側の市民や企業に対する「啓発活動」の重要性が提言された。

9. その他

【対策・方向性】

- (1) 市内医療機関の代表者にて、定期的な情報交換・協議・検討等が行える場を設置する。
- (2) 今後ますます重要性が増す県地域医療対策協議会等、県が主催する重要な会議等へ神栖市を代表する医療機関の関係者が参加できるよう要望等に努める。
- (3) 神栖市が運営する急病時の対応や気になる身体の症状、治療、育児、医療機関の情報等を相談できる「かみす健康ダイヤル 24」をより多くの市民に利用して頂くために、広報等により積極的に情報提供を行う。

【委員会・意見交換会での主な意見】

- 地域の医療機関が互いの状況を理解するとともに、市内の医療提供体制に係る最新の情報や地域医療が抱える課題及び対応策等について、定期的に協議検討するため、今回の意見交換会のような関係機関が一堂に会して話し合う場を継続して開催することの意義・重要性が提言された。
- 県が主催する会議等に、鹿行医療圏を代表する医療機関が出席していない等の事象が発生しないよう、地域が一丸となり、県の医療行政に対して自分達の意見を主張することが重要であると提言された。
- 急病時の対応や医療機関の情報、健康相談等について、「市民はどこに相談すれば良いのかわからない」ので、「相談窓口」を設置すべきであると提言された。

Ⅲ. 今後の対応

本報告書で定められた「対策・方向性」については、医師会や歯科医師会、各医療機関、医療従事者、市民、行政・消防本部等の関係者が連携・協力していくことで、その実現に向けた具体的な「実行」のフェーズに移行することが重要であり、更なるデータ分析や具体的な対策の協議検討を進めるにあたっては、必要に応じ課題案件毎に、ワーキングチームや分科会を設置して検討を行う必要がある。

また、医療提供体制に係る最新情報等の共有や連携・協力を推進するうえでは、顔の見える関係性の構築が必須であり、関係機関の参画による協議・検討会の開催が必要不可欠となる。

さらに並行して、市民・企業に市内の医療実情を理解いただくため、健康診断の受診促進や救急車の適正利用など、医療を受ける側の市民や企業に対する「広報・啓発」の取り組みが大変重要であることから、早期に対応する必要がある。

なお、各対策・方向性の検討状況や進捗状況等については、地域環境の変化や制度改正に柔軟に対応することが必要となることから、市が事務局の中心となって管理していくものとする。

おわりに

検討委員会では、地域の医師会や歯科医師会、医療機関、消防、行政機関の他に、医科大学医療情報教員、医療を受ける立場の市民代表の方など、多方面の皆様に参加いただき、4回の委員会で議論してきました。さらに、市内外・県内外の医療関係者の方々に出席いただき、意見交換会も開催しました。いずれの場でも、神栖市の地域医療が抱える課題を解決するための対策・方向性について真摯に協議・検討いたしました。

日々訪れる多くの患者への対応、日夜発生する救急現場における現有戦力での最大限の努力、あるいは進展する高齢化や情報化への備え、そして市民の不安の解消など、対応しなければならない事案は多岐多数にわたります。こうした課題に対する率直な思いや提案など、それぞれの立場から忌憚のないご意見を頂戴できたと感じております。そうした幅広い議論を踏まえ、将来の理想像を見据えつつも、現実的な対応、地道な努力、各関係者の参加と連携を念頭に置きながら、対応・方向性のあり方を探ってまいりました。

その結果、本報告書本章に記載のとおり、神栖市の地域医療が抱える現状・課題を9つの分野にわけて整理し、新拠点病院の確実な整備や医療機関相互の役割分担、限られた医療資源の効率的活用など、様々な観点から対策と方向性をとりまとめることができました。

いずれの提案も実現することは決して簡単ではありません。特に、当市の医療資源の現状を鑑みますと、医療機関単独で、あるいは消防本部や行政機関だけで、一朝一夕に解決することは大変困難なものがあります。そのため、これまで以上に、医療機関のみならず、議会や行政など医療に関心を持つ全ての関係者が一致協力・連携して、課題解決に積極的に取り組むことが不可欠です。さらに市民の皆様のご協力とご理解も重要です。神栖市の医療の現状や実態をご理解いただき、例えば救急車の適正利用、市民自身の健康管理や疾病予防を心がけていただければ、夜間・休日の急患数の削減、手遅れになら

ない受診などにつながり、限られた医療資源の中で貢献いただく場面がたくさんあることを改めて認識いただければと思います。

今回提案した対策と方向性について、幅広い立場の方々の賛同と参加を得て、裾野を大きく広げ、神栖市の医療体制のあるべき姿、高みを目指して、一步一步上っていくことを切に期待します。本報告書が神栖市の新しい医療体制の構築に貢献できることを心から祈念申し上げます。

令和 2 年 3 月
神栖市地域医療体制検討委員会
委員長 永井秀雄

神栖市地域医療体制検討委員会 名簿

○委員

(敬称略)

	所属・職名	氏名	備考
1	茨城県立中央病院 名誉院長	永井 秀雄	神栖市地域医療体制検討委員会 委員長
2	鹿島医師会 会長	松倉 則夫	松倉中央クリニック院長
3	神栖医師会 会長	武藤 隆雄	武藤小児科医院院長
4	神栖市歯科医師会 会長	石橋 英郎	セントラル歯科医院院長
5	成田赤十字病院	板寺 英一	神栖市出身医師
6	東京医科歯科大学医学部附属病院	内村 祐之	医療情報部 特任講師
7	神栖済生会病院 顧問	高崎 秀明	
8	神栖済生会病院 院長	中村 慶春	
9	神栖済生会病院 副院長	西 功	筑波大学附属病院 神栖地域医療教育センター部長
10	白十字総合病院 院長	鈴木 善作	
11	鹿嶋ハートクリニック 院長	大城 恬瑩	
12	市民代表	菅原 敏晴	
13	潮来保健所 所長	石田 久美子	
14	鹿島地方事務組合消防本部 消防長	伊藤 幸一	
15	鹿島地方事務組合消防本部 メディカルアドバイザー	鶴岡 信	

○神栖市

1	健康福祉部長	畠山 修
2	医療対策監	藤枝 昭司
3	地域医療推進課（事務局）	課長 海老原 洋之
4		課長補佐 吉川 徹
5		係長 岩井 栄祐
6		主事 清田 麻由子

【資料編】

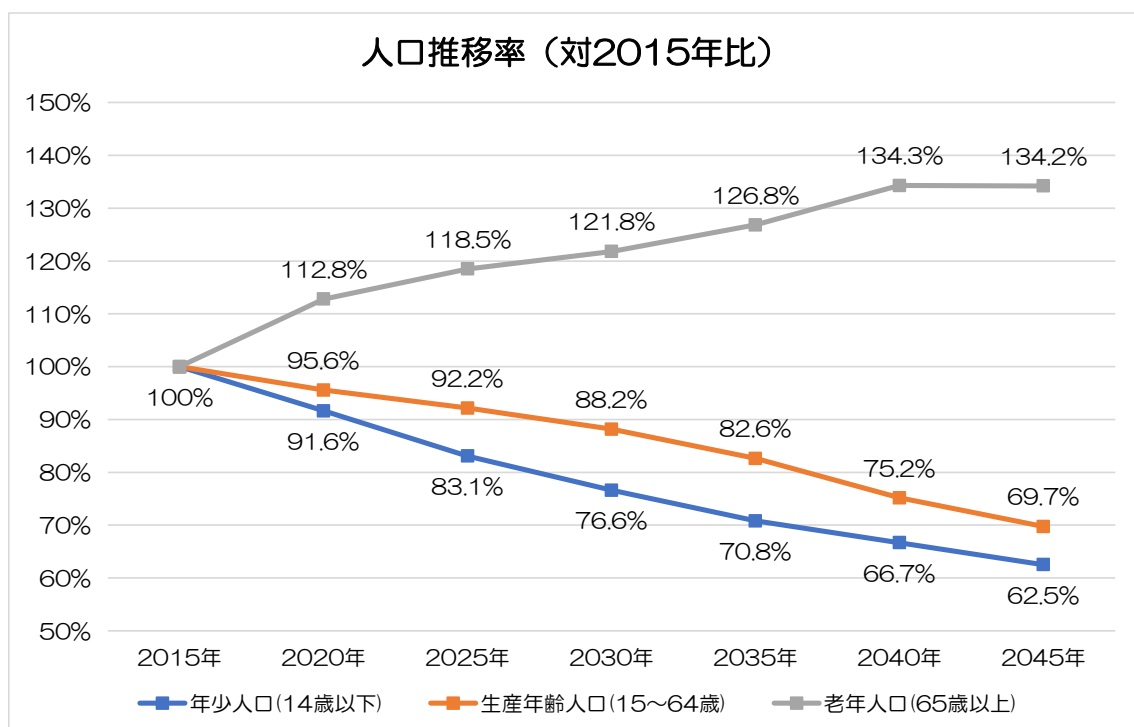
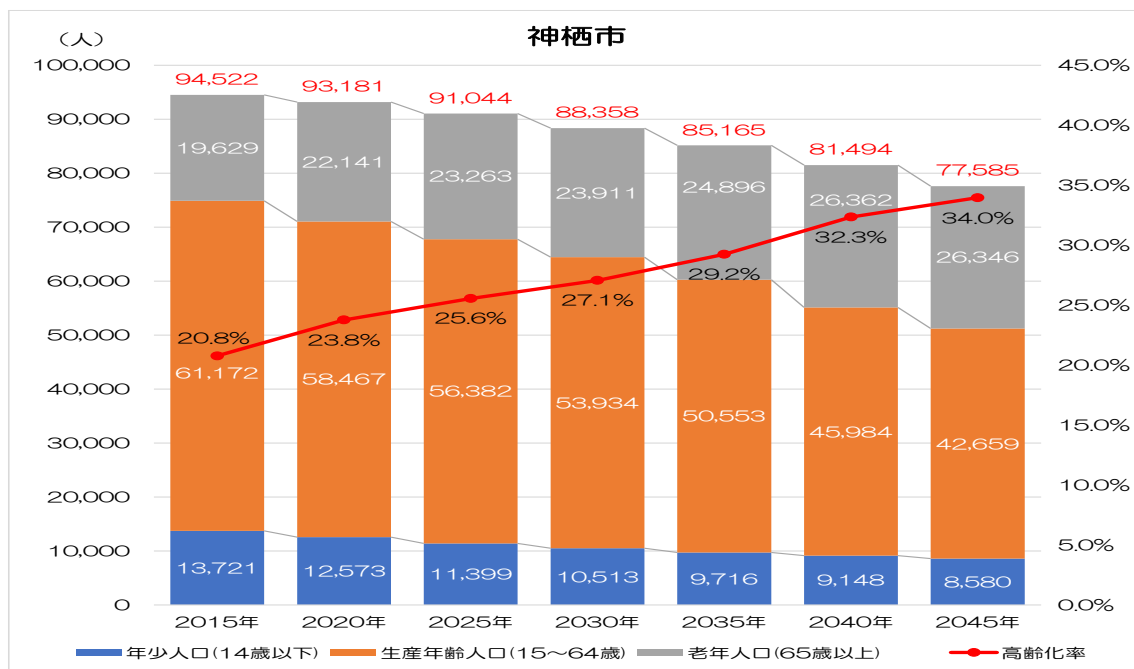
目 次

1.	将来人口推計	26
2.	神栖市の医療提供体制	29
3.	神栖市の歯科医療提供体制	30
4.	人口 10 万人当たりの診療所数	31
5.	在宅医療提供状況	32
6.	救急医療提供状況	34
7.	将来患者数推計	35
8.	圏域別・将来患者数推計	37
9.	救急搬送状況調査	43
10.	患者受療動向（国保・後期高齢者レセプトデータ分析）	47
11.	その他参考データ	53

1. 将来人口推計

(1) 神栖市将来人口推計

神栖市の人口は、将来的に減少することが予測される。一方で、高齢化率は上昇することが予測され、2030年には高齢化率が27.1%まで上昇することが予測される。



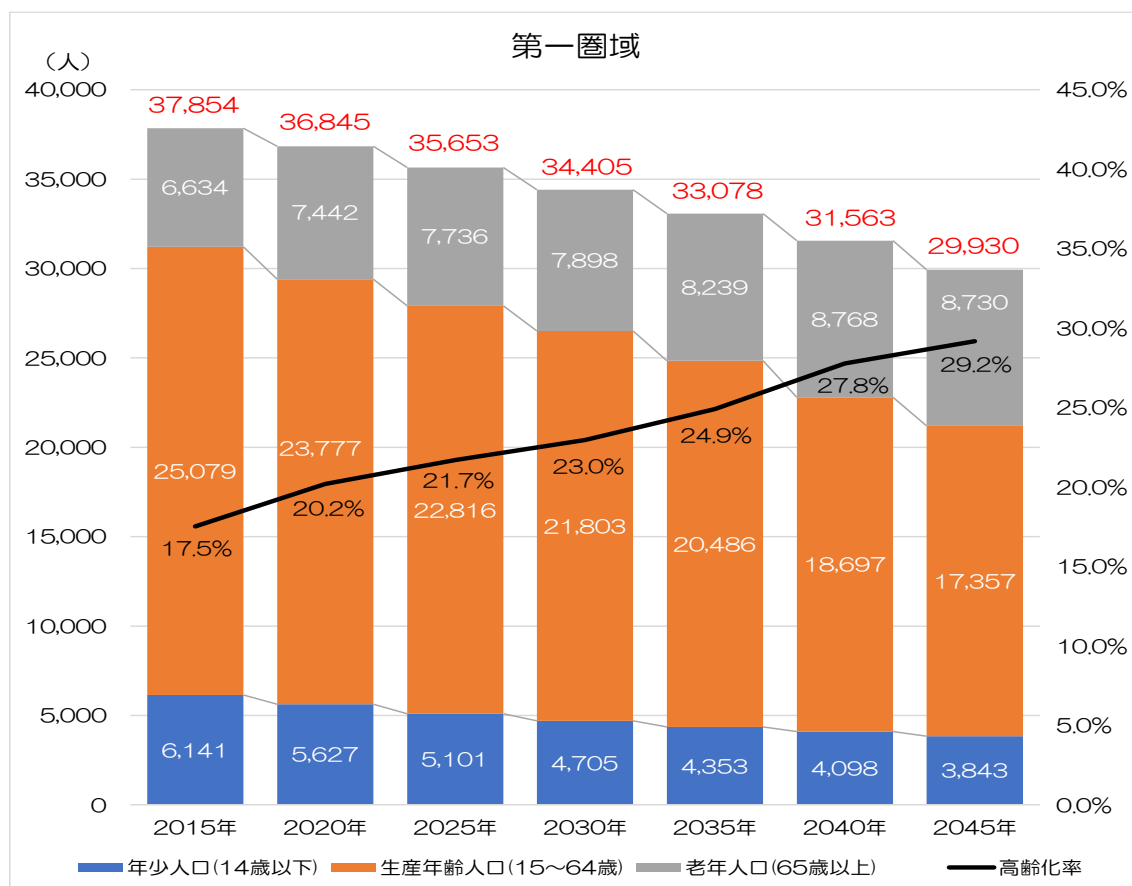
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年(2018年)推計）」より

(2) 3つの日常生活圏域別将来人口推計

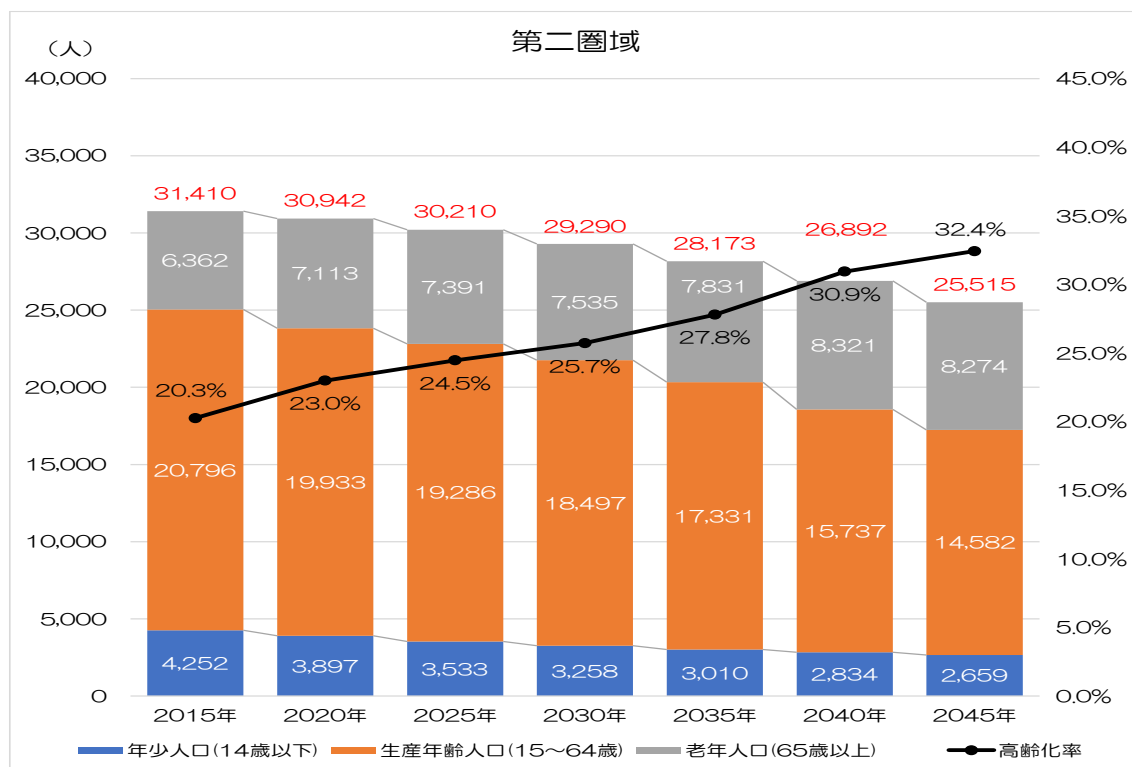
※日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で日常生活を送ることができるよう、地理的条件や人口、交通事情、その他社会的条件、施設の整備状況などを総合的に勘案して定めた区域。(神栖市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画より)

第一圏域	萩原、芝崎、石神、高浜、田畑、木崎、溝口、息栖、賀、筒井、平泉、平泉東一～三丁目、神栖一～四丁目、深芝、東深芝、深芝南一～五丁目、居切、下幡木、鰐川、堀割一～三丁目、大野原一～八丁目、大野原中央一～六丁目
第二圏域	横瀬、日川、奥野谷、知手、知手中央一～十丁目、南浜、太田、大田新町一～五丁目、須田、若松中央一～五丁目、柳川、柳川中央一～二丁目、砂山、東和田
第三圏域	波崎、波崎新港、矢田部、土合本町一～五丁目、土合中央一～三丁目、土合北一～二丁目、土合南一～三丁目、土合東一～二丁目、土合西一～四丁目

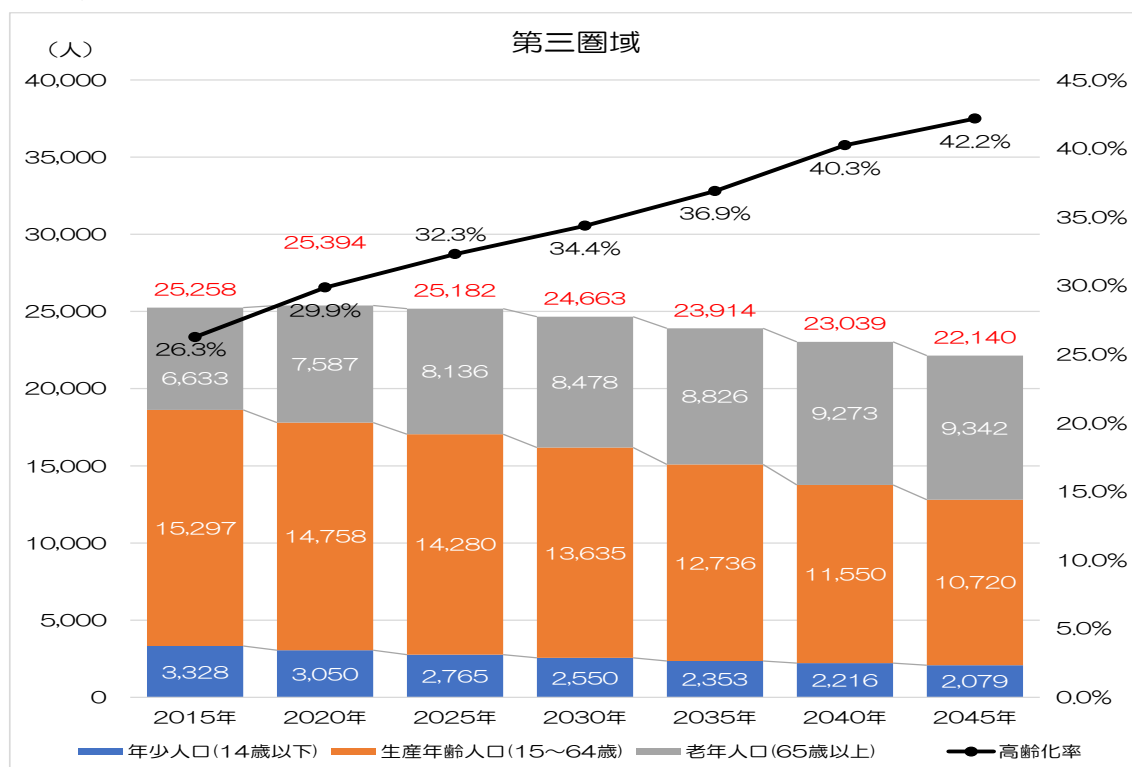
①第一圏域



②第二圏域



③第三圏域



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年(2018年)推計）」より

2. 神栖市の医療提供体制

神栖市には、病院が4施設、診療所が28施設の合計32の医療機関が所在する。

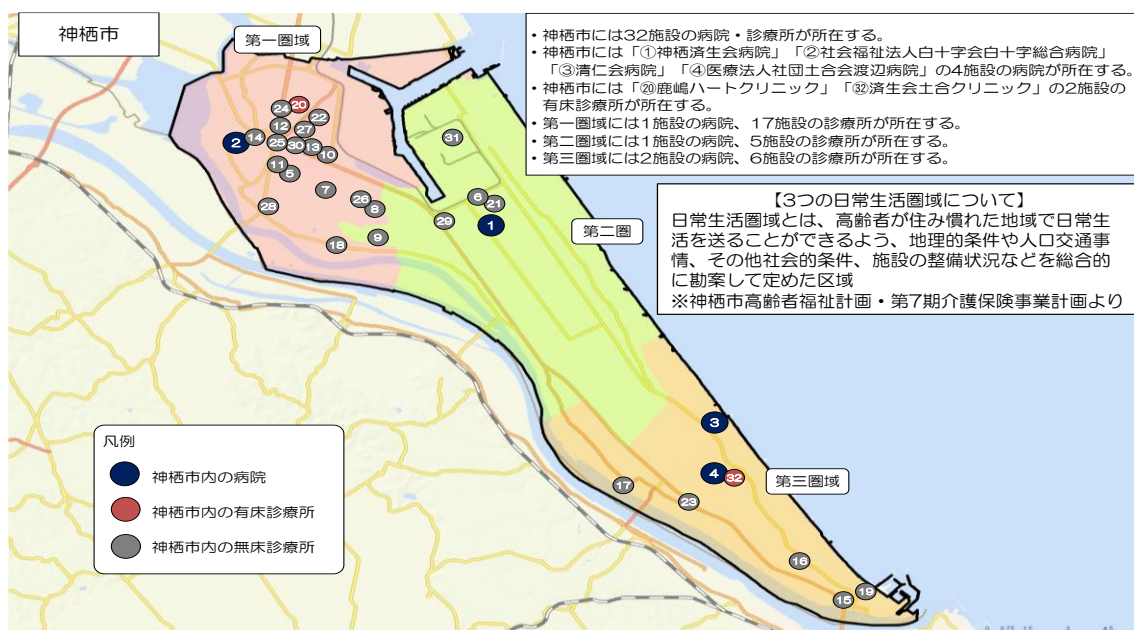
神栖市内の医療機関でDPC対象病院は、神栖済生会病院（準備病院）、白十字総合病院（準備病院）の2施設である。

市	区分	No	医療機関名称	医療機関所在地（住所）	関東信越厚生局届出受理医療機関名簿 令和元年12月1日現在						茨城県病床機能報告 平成29年7月1日時点					
					総数	一般	療養	結核	感染	精神	総数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休養中等
神栖市	病院	1	神栖済生会病院	神栖市知手中央7-2-45	179	140	39	0	0	0	179	0	93	0	0	86
		2	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖市霞2148	304	214	90	0	0	0	304	0	154	40	90	20
		3	清仁会病院	神栖市矢田部11345-1	134	0	134	0	0	0	134	0	0	0	118	16
		4	医療法人社団土合会 渡辺病院	神栖市土合本町2-9809-20	96	0	96	0	0	0	96	0	0	0	96	0
	診療所	5	あきら医院	神栖市大野原5-1-29	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		6	武蔵小児科医院	神栖市知手中央1-15-40	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		7	児玉医院	神栖市木崎2406-261	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		8	河島医院	神栖市浦口5539-1	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		9	野口医院	神栖市知手98-41	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		10	神栖皮膚科クリニック	神栖市神栖1-5-7	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		11	西尾耳鼻咽喉科医院	神栖市大野原5-3-69	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		12	坂本医院	神栖市平栗2769	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		13	かみず眼科	神栖市神栖1-12-8	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		14	橘之内医院	神栖市滝井1422-147	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		15	医療法人 千樹会 小田医院	神栖市波崎8635	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		16	波崎クリニック	神栖市波崎6271-5	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		17	医療法人 永木外科胃腸科医院	神栖市矢田部2959-1	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		18	人見医院	神栖市芝崎332番地	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		19	済生会波崎診療所	神栖市波崎8968	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		20	医療法人 玉心会 鹿嶋ハートクリニック	神栖市平栗1番168	19	19	0	0	0	0	19	0	19	0	0	0
		21	かしまなだ診療所	神栖市知手中央3-4-21	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		22	五郎台ファミリクリニック	神栖市深芝南2-11-12	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		23	ひかりクリニック	神栖市矢田部7801-31	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		24	にへいなかよしクリニック	神栖市平栗1-74	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		25	牧医院	神栖市神栖1-17-20	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		26	わたなべ眼科クリニック	神栖市浦口1654-1	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		27	医療法人社団秀章会 三井クリニック	神栖市平栗東三丁目21番地4	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		28	いさすの森クリニック	神栖市息崎3031番35	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		29	かみず中央メディカルクリニック	神栖市知手3061-101	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		30	皮膚科内科リヤマクリニック	神栖市神栖1丁目17-1ソレイユプラザ	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		31	一般社団法人日本健康倶楽部茨城支部 東部地区健康管理クリニック	神栖市栗和田7911	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
		32	済生会土合クリニック	神栖市土合本町一丁目9108番3	10	10	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—

※「関東信越厚生局 届出受理医療機関名簿（令和元年12月1日現在）」

※「茨城県病床機能評価（平成29年7月1日時点）」より

神栖市に所在する32の医療機関の中、第一圏域には18施設（1病院・17診療所）、第二圏域には6施設（1病院・5診療所）、第三圏域には8施設（2病院・6診療所）が所在し、多くの医療機関が第一圏域に集中している。

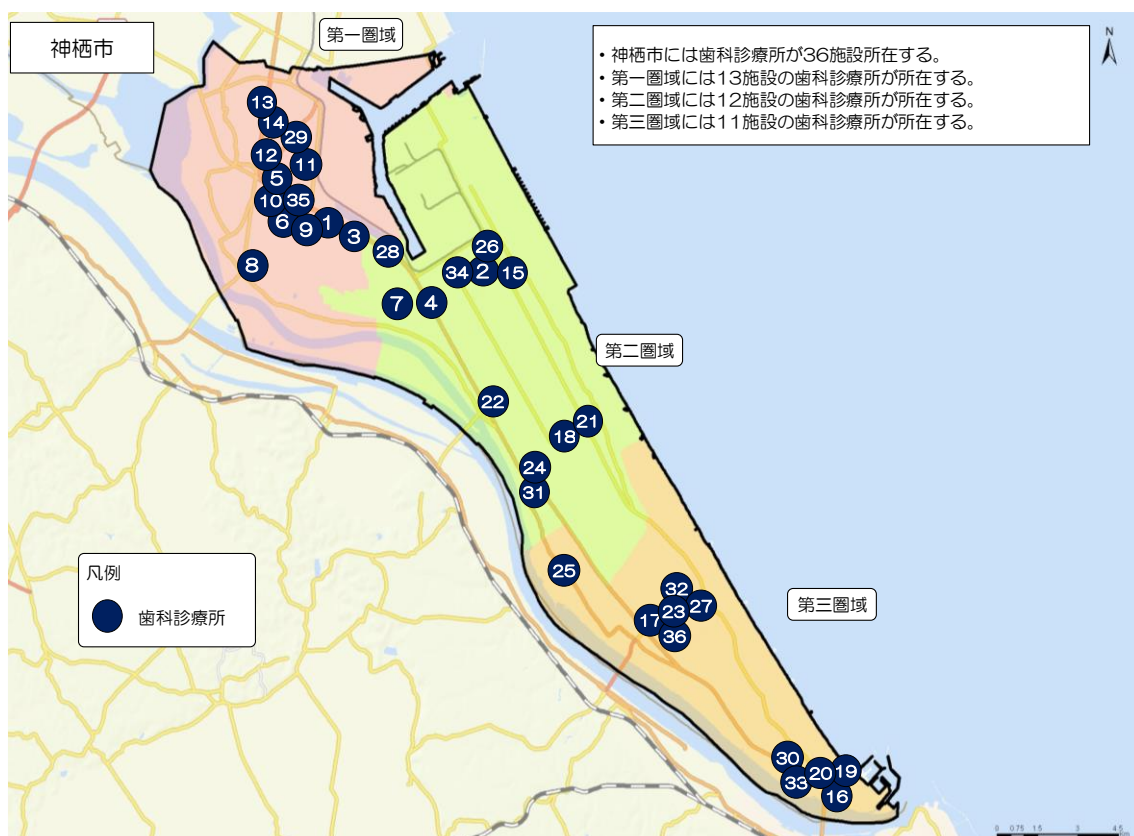


3. 神栖市の歯科医療提供体制

神栖市には、歯科診療所が36施設所在する。

No.	医療機関名称	医療機関所在地（住所）	No.	医療機関名称	医療機関所在地（住所）
1	新藤歯科医院	神栖市木崎2905-2	19	明神歯科医院	神栖市波崎8816-24
2	知手歯科医院	神栖市知手中央3-3-5	20	林歯科医院	神栖市波崎8429-13
3	大久保歯科	神栖市溝口1725-1	21	波崎歯科医院	神栖市須田2340-48
4	沼田歯科医院	神栖市知手2974-45	22	青柳歯科医院	神栖市太田4652
5	大槻歯科医院	神栖市神栖1-17-34	23	さひめ歯科クリニック	神栖市土合中央3-3-19
6	谷口歯科クリニック	神栖市大野原7-7-30	24	小林歯科クリニック	神栖市太田396-13
7	神栖デンタルクリニック	神栖市知手5234	25	山本歯科クリニック	神栖市矢田部5547-1
8	丸山歯科医院	神栖市息栖3031-49	26	こうなん歯科	神栖市知手中央3-8-2
9	セントラル歯科医院	神栖市大野原1-4-51	27	医療法人社団公慈会PCデンタルクリニック	神栖市土合中央3丁目1番20号
10	Apple歯科	神栖市大野原4-2-3	28	ワイスデンタルクリニック	神栖市奥野谷8197
11	池田歯科医院	神栖市神栖3-1222-59	29	小山記念病院付属ふかしば歯科	神栖市深芝南三丁目21番1
12	坂本医院歯科	神栖市平泉2517	30	荒野歯科医院	神栖市波崎6980-1
13	ひとみ歯科医院	神栖市堀割1-5-6	31	和齒科医院	神栖市太田294番地10
14	医療法人 藤仁会 第二歯科医院	神栖市平泉2-17	32	越川歯科クリニック	神栖市土合本町五丁目9809番732
15	スズキ歯科医院	神栖市知手3612-2	33	竹内歯科矯正歯科	神栖市波崎7499
16	山崎歯科医院	神栖市波崎8888	34	東部歯科診療所	神栖市知手中央6丁目1番7号
17	安藤歯科医院	神栖市矢田部6883	35	小貫歯科クリニック	神栖市大野原2丁目30番23号
18	横野歯科医院	神栖市若松中央1-48	36	若上歯科医院	神栖市土合南2丁目17-3

※「関東信越厚生局 届出受理医療機関名簿（令和2年2月1日現在）」より



4. 人口 10 万人当たりの診療所数

(1) 神栖市全体

神栖市の人口 10 万人当たりの診療所数は 29.3 施設であるのに対し、隣接する鹿嶋市は 41.6 施設（参考：茨城県 49.4 施設）である。

	総人口(人)	診療所数(施設)	人口10万人当たり 診療所数(施設)
神栖市	95,592	28	29.3
鹿嶋市	67,320	28	41.6
茨城県	2,866,325	1,415	49.4

※関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿（令和 2 年 1 月 1 日現在）」

※神栖市「神栖市の町丁字別人口（令和 2 年 1 月末日現在）」

※茨城県「茨城県の人口と世帯（令和 2 年 1 月 1 日現在）」より

(2) 圏域別・人口 10 万人当たりの診療所数

各圏域の人口 10 万人当たりの診療所数は、第一圏域が 42.7 施設、第二圏域が 15.9 施設、第三圏域が 24.7 施設である。

	総人口(人)	診療所数(施設)	人口10万人当たり 診療所数(施設)
第一圏域	39,799	17	42.7
第二圏域	31,462	5	15.9
第三圏域	24,331	6	24.7

※関東厚生局「届出受理医療機関名簿（令和 2 年 1 月 1 日現在）」

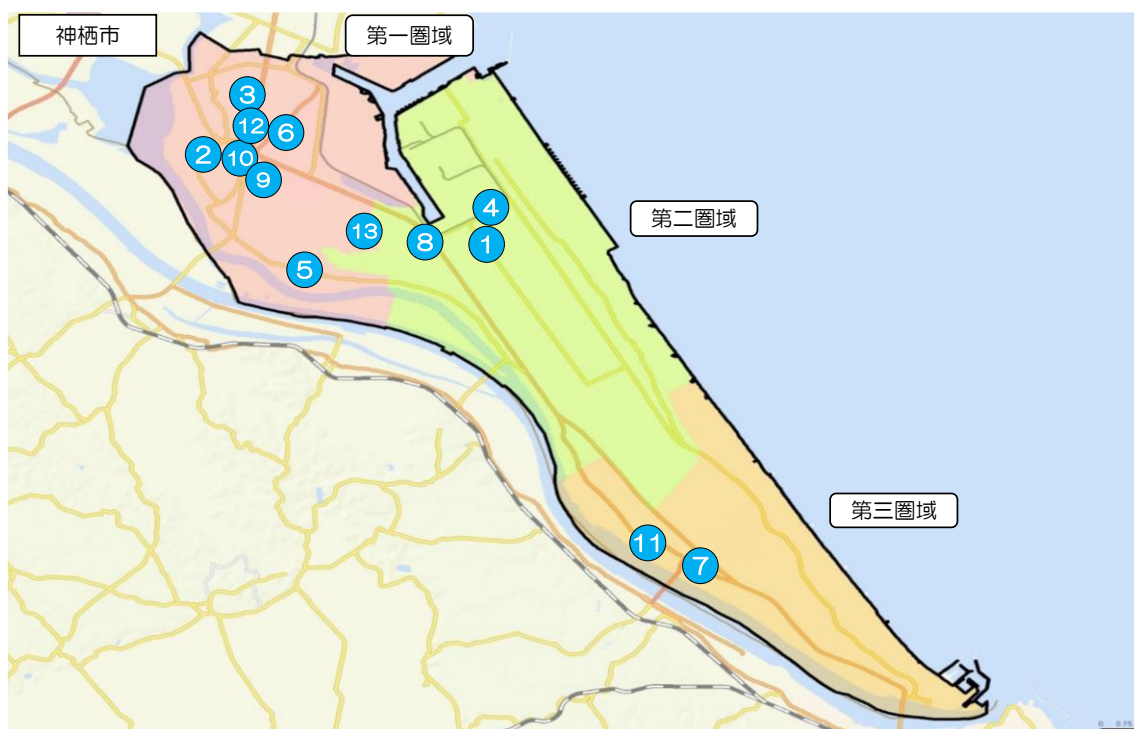
※神栖市「神栖市の町丁字別人口（令和 2 年 1 月末日現在）」より

5. 在宅医療提供状況

(1) 在宅医療提供機関・分布状況

神栖市内で在宅医療を提供しているのは13施設であり、特に第三圏域においては、ひかりクリニック、永木外科胃腸科医院の2施設のみが在宅医療を提供している。

No.	医療機関名	住所	総病床数	一般病床数	療養病床数	結核病床数	精神病床数	感染症病床数	(支援診1)	(支援診2)	(支援診3)	(在診実1)	(在診実2)	(支援病1)	(支援病2)	(支援病3)	(在病実1)	(在病実2)	(在医病)	(在産)	(在血)	(在助)	(在産)
									0	0	5	0	0	1	0	0	0	7	6	1	0	0	0
1	神栖済生会病院	神栖市知手中央7-2-45	179	140	39									○					○	○			
2	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖市賀2148	304	214	90															○			
3	医療法人 玉心会 鹿嶋ハートクリニック	神栖市平塚1番168	19	19						○									○	○			
4	かしまなだ診療所	神栖市知手中央3-4-21	0																○	○			
5	人見医院	神栖市芝罘332番地	0							○									○	○			
6	五郎台ファミリークリニック	神栖市深芝南2-11-12	0							○									○	○			
7	ひかりクリニック	神栖市矢田部7801-31	0							○									○	○			
8	かみす中央メディカルクリニック	神栖市知手3061-101	0							○									○	○			
9	牧医院	神栖市神栖1-17-20	0																				
10	坂本医院	神栖市平塚2769	0																				
11	医療法人 永木外科胃腸科医院	神栖市矢田部2959-1	0																				
12	にへいなかほクリニック	神栖市平塚1-74	0																				
13	河島医院	神栖市漢口5539-1	0																				



※No.1～8の医療機関（黄色）は「関東信越厚生局 届出受理医療機関名簿（令和元年12月1日現在）」

※No.9～13の医療機関（緑色）は「茨城県医療情報提供システム（令和2年1月6日掲載時点）」より

(2) 人口 10 万人当たりの在宅医療提供施設数

神栖市内で在宅医療を提供している医療機関は 13 施設である。人口 10 万人当たりの施設数で見ると、神栖市は約 14 施設であり、土浦市の約 21 施設や取手市の約 19 施設、水戸市の約 18 施設を下回っている。

	総人口	在宅医療提供 医療機関	人口10万人当たり 在宅医療提供医療機関数
神栖市	95,428	13	13.6
土浦市	138,557	29	20.9
取手市	104,611	20	19.1
水戸市	269,763	48	17.8

※関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿（令和 2 年 1 月 1 日現在）」

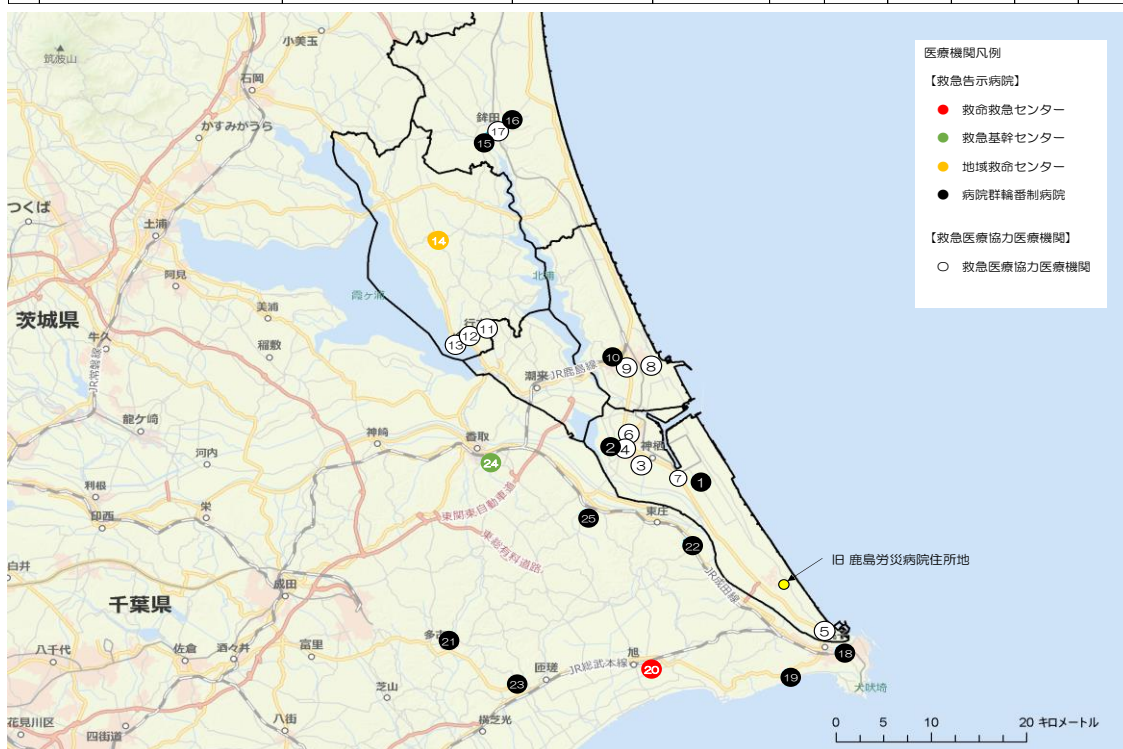
※茨城県「茨城県の人口と世帯（令和 2 年 1 月 1 日現在）」より

6. 救急医療提供状況

鹿行医療圏における救急医療提供医療機関は全 17 施設であり、そのうち神栖市は 7 施設である。また、隣接する千葉県への主な救急医療提供機関は以下の通りである。

No	医療機関名称	医療機関所在地（住所）	区分		総病床数	病床数内訳				
			告示の有無	救急機能		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染病床
1	神栖済生会病院	神栖市知手中央 7-2-45	救急告示病院	病院群輪番制病院	179	140	39	0	0	0
2	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖市賢 2148	救急告示病院	病院群輪番制病院	304	214	90	0	0	0
3	児玉医院	神栖市木崎 2406-261	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
4	城之内医院	神栖市滝井 1422-147	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
5	医療法人 千樹会 小田医院	神栖市波崎 8635	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
6	医療法人 玉心会 鹿嶋ハートクリニック	神栖市平泉 1番168	救急医療協力医療機関		19	19	0	0	0	0
7	かみす中央メディカルクリニック	神栖市知手 3061-101	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
8	公益財団法人 鹿島病院	鹿嶋市平井 1129-2	救急医療協力医療機関		261	77	0	178	2	4
9	前田病院	鹿嶋市大字宮中 5201	救急医療協力医療機関		36	0	36	0	0	0
10	医療法人社団 善仁会 小山記念病院	鹿嶋市厨 5-1-2	救急告示病院	病院群輪番制病院	224	194	30	0	0	0
11	錦持外科	行方市麻生 1555-4	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
12	小沼診療所	行方市麻生 1105-2	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
13	朝倉診療所	行方市麻生 1110-1	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0
14	土浦協同病院なめがた地域医療センター	行方市井上藤井 98-8	救急告示病院	地域救命センター	199	199	0	0	0	0
15	医療法人三池会 高須病院	鉾田市鉾田 2570	救急告示病院	病院群輪番制病院	55	55	0	0	0	0
16	医療法人 東湖会 鉾田病院	鉾田市安房 1650-2	救急告示病院	病院群輪番制病院	62	62	0	0	0	0
17	ハタミクリニック	鉾田市鉾田 1347-1	救急医療協力医療機関		0	0	0	0	0	0

No	医療機関名称	医療機関所在地（住所）	区分		総病床数	病床数内訳				
			告示の有無	救急機能		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染病床
18	医療法人精仁会島田総合病院	千葉県銚子市東町 5-3			185	185	0	0	0	0
19	医療法人財団みさき会たむら記念病院	千葉県銚子市三崎町 2-2609-1			167	70	97	0	0	0
20	総合病院国保旭中央病院	千葉県旭市の 1326		救命救急センター	989	763	0	220	0	6
21	国保多古中央病院	千葉県香取郡多古町多古 388-1			161	105	56	0	0	0
22	東庄町国民健康保険東庄病院	千葉県香取郡東庄町石出 2692-15			80	32	48	0	0	0
23	国保匝瑳市民病院	千葉県匝瑳市八日市場 1304			99	99	0	0	0	0
24	千葉県立佐原病院	千葉県香取市佐原 12285		※救急基幹センター	231	227	0	0	4	0
25	香取おみわ医療センター	千葉県香取市南原地新田 438-1			100	100	0	0	0	0



※各医療機関のプロット番号は1ページの各医療機関Noと同一

※関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」（令和元年 12 月 1 日現在）

※茨城県「茨城県第 7 次保健医療計画」（平成 31 年 3 月 11 日更新）

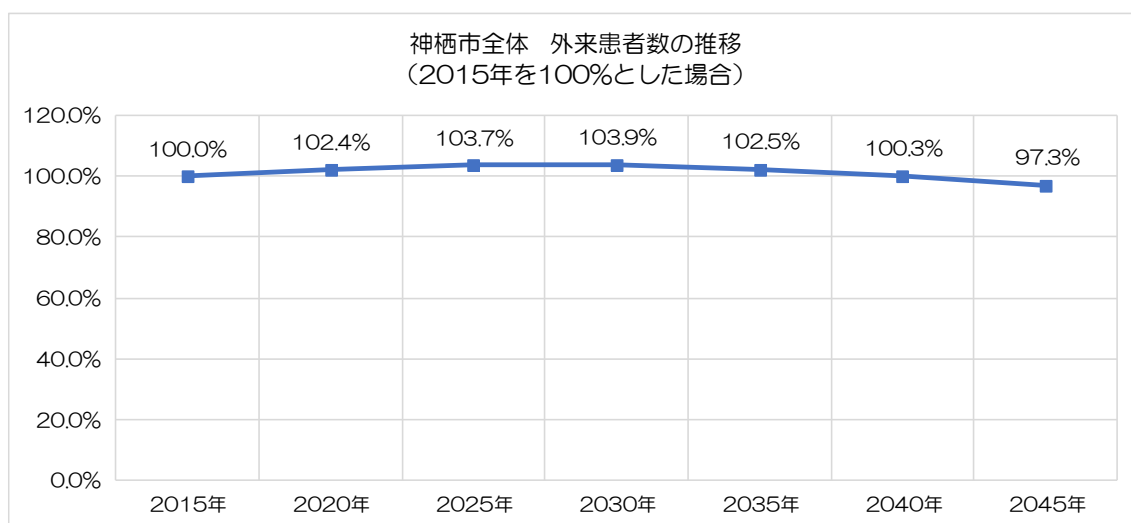
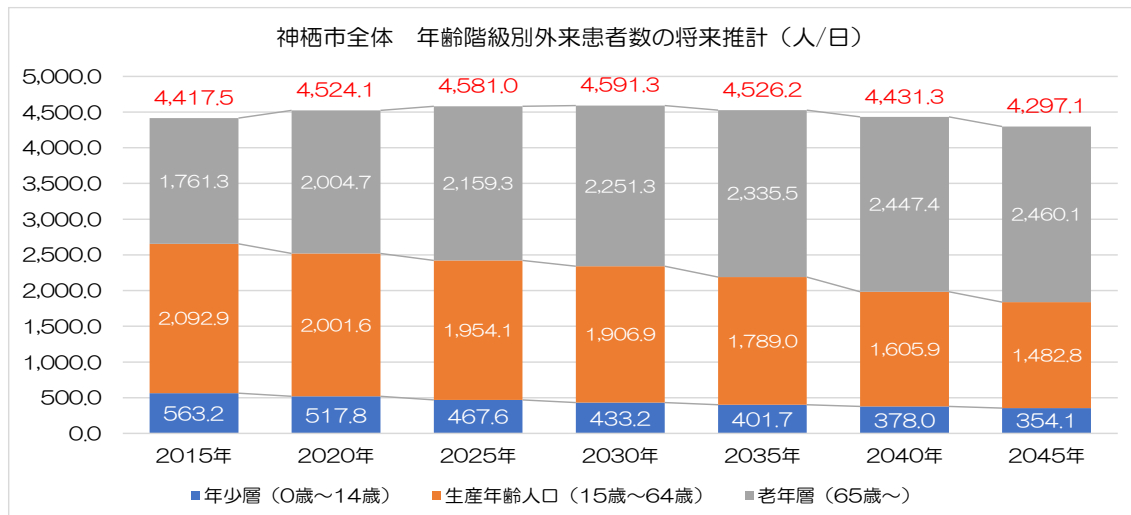
※千葉県「千葉県保健医療計画」（平成 31 年 3 月 19 日更新）より

※「救急基幹センター」＝千葉県独自の制度で初期及び 2 次救急の支援と 3 次救急の補完的役割を果たす施設

7. 将来患者数推計

(1) 神栖市外来患者数推計

神栖市の外来患者数は、将来的にはほぼ横ばい(微増)で推移することが予測される。

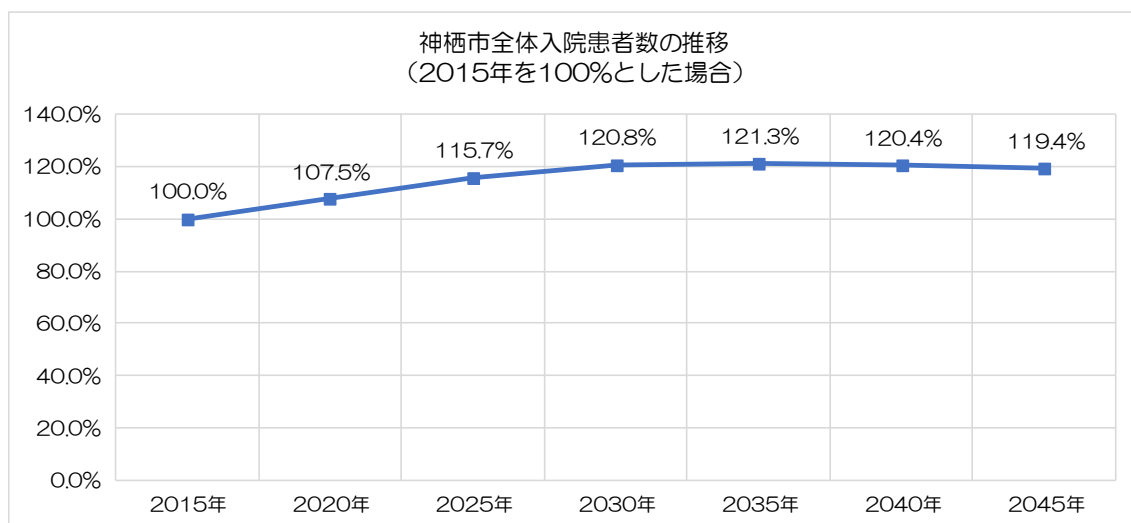
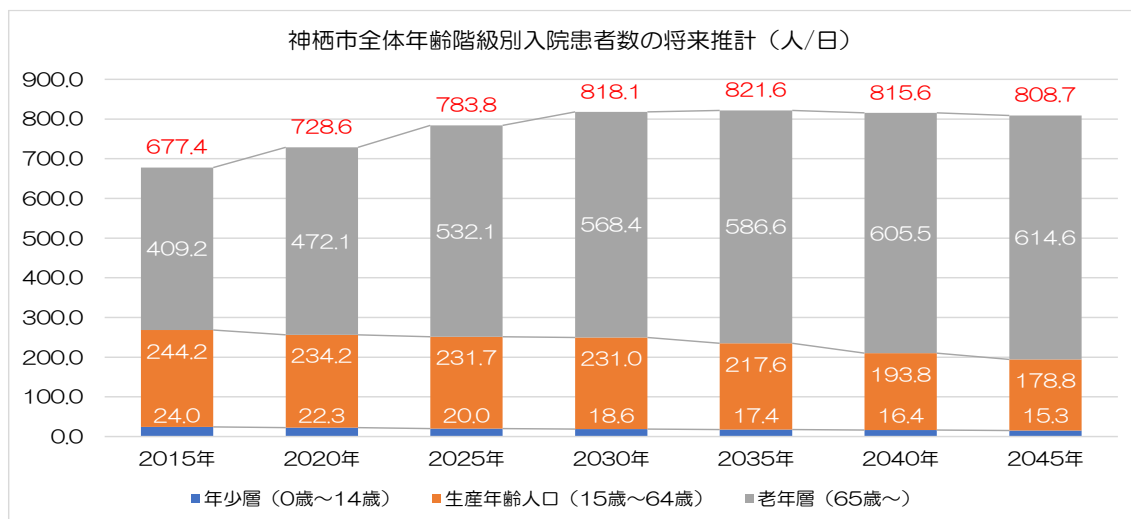


※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (2018年推計)」

※厚生労働省「受療率 (人口10万対)、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別 (外来)」より

(2) 神栖市入院患者数推計

神栖市の入院患者数は、市民の高齢化に比例して将来的に増加することが予測され、2035年頃には、対2015年比で約120%程度まで増加し、その後も2045年頃までは同水準で推移することが予測される。



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

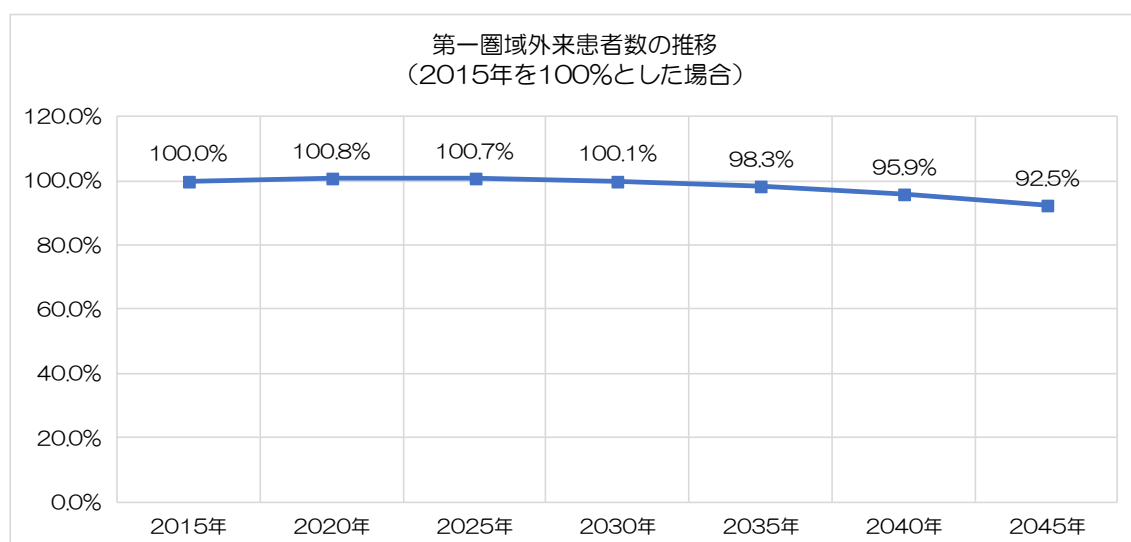
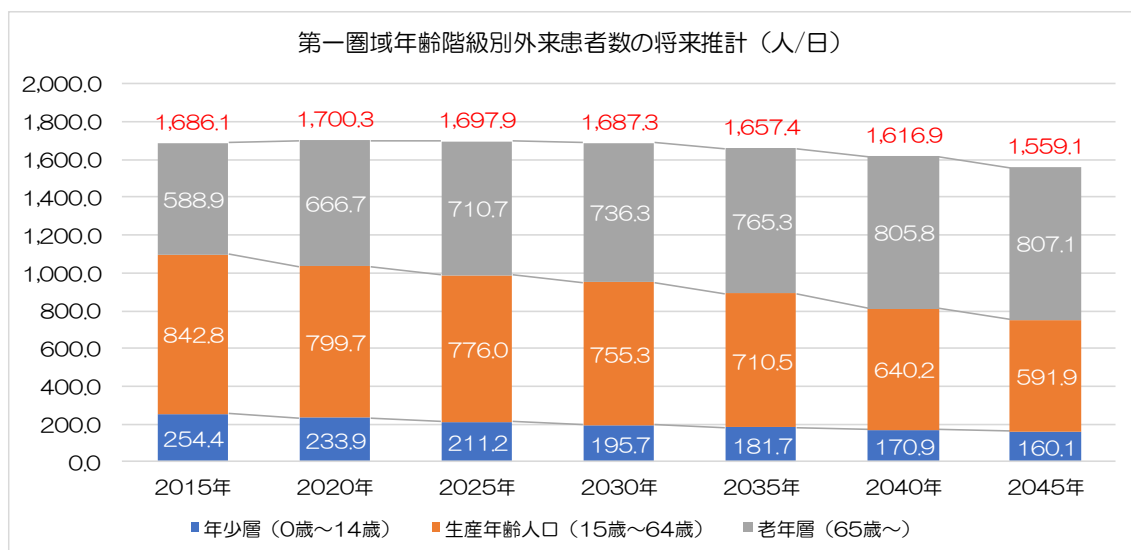
※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（入院）」より

8. 圏域別・将来患者数推計

(1) 外来患者数推計

圏域別の将来患者推計によれば、外来患者については、第一圏域では2025年頃まで微増で、その後2045年には約93%に減少すると見込まれ、第二圏域では2030年まで微増、その後減少に転じ、2045年には約95%になると見込まれ、第三圏域では2030年に約110%に増加し、2045年にあっても106%程度で推移すると見込まれる。

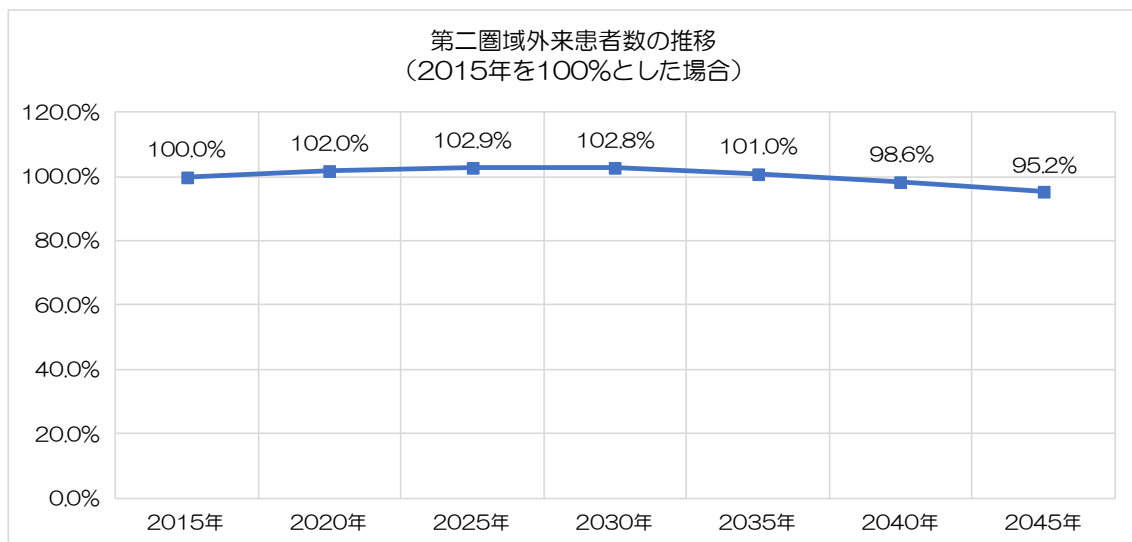
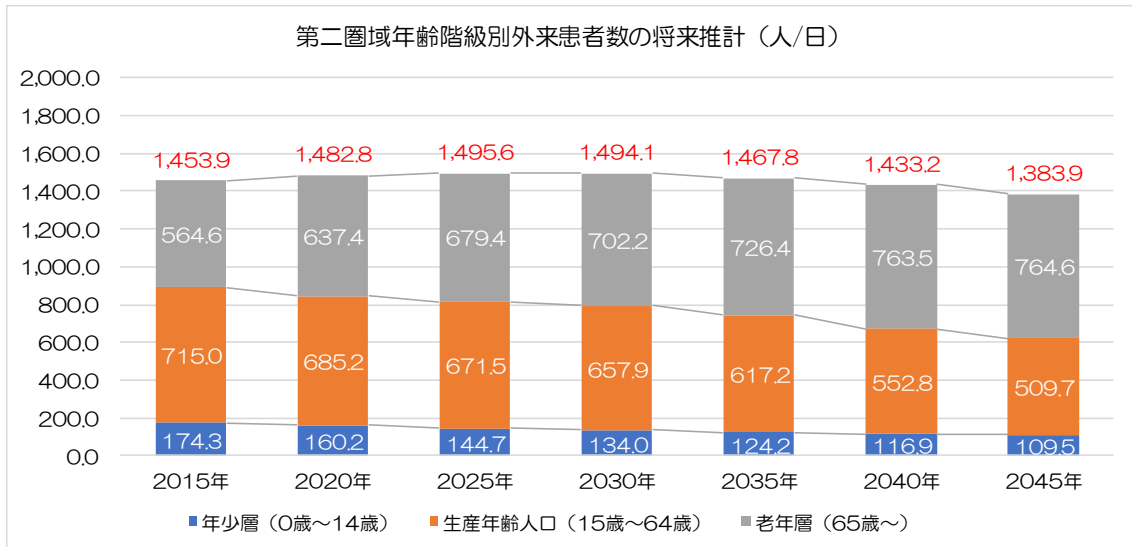
【第一圏域：外来】



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（外来）」より

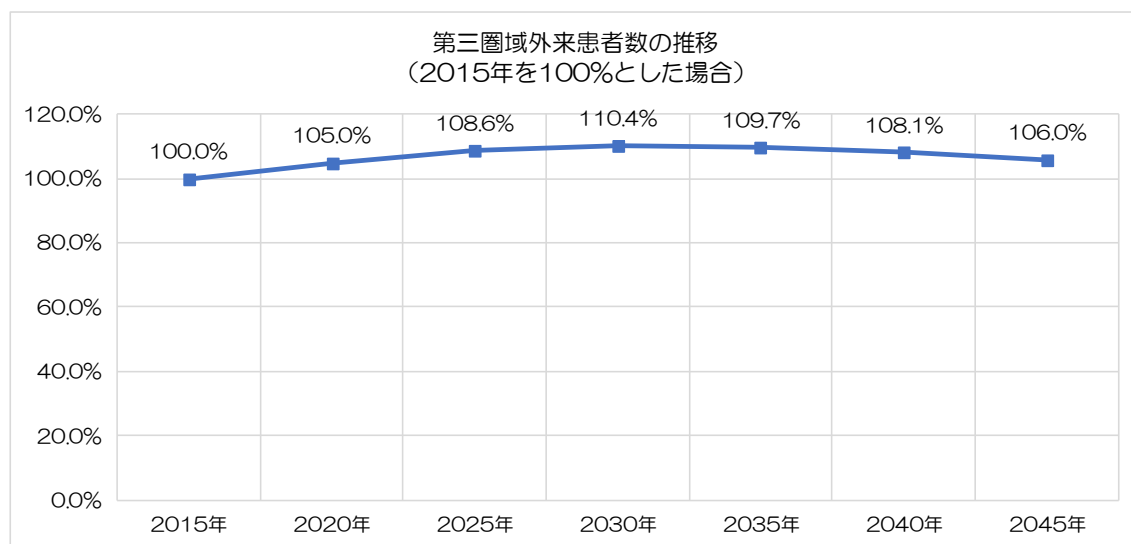
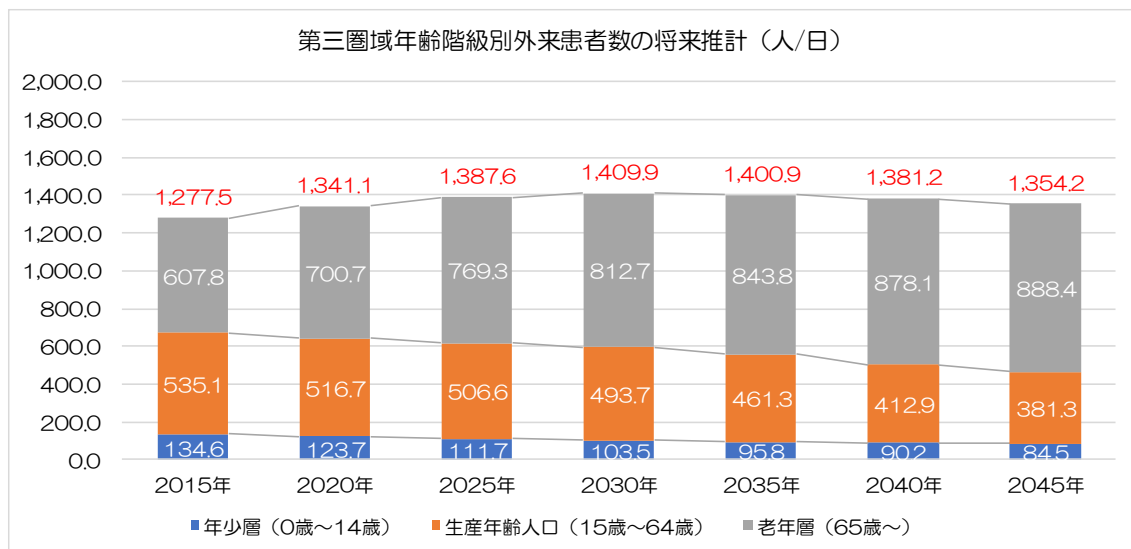
【第二圏域：外来】



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（外来）」より

【第三圏域：外来】



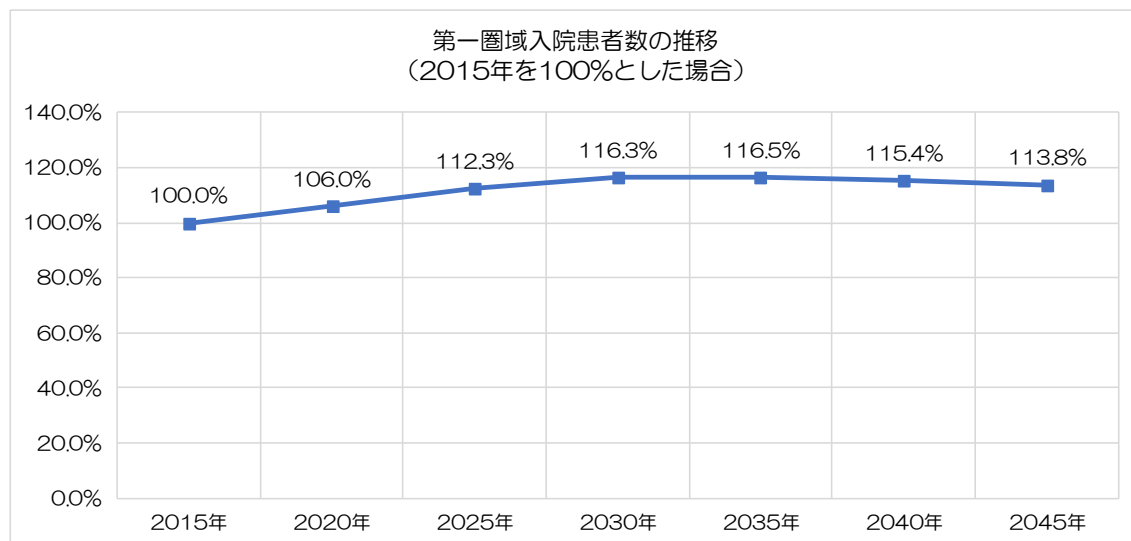
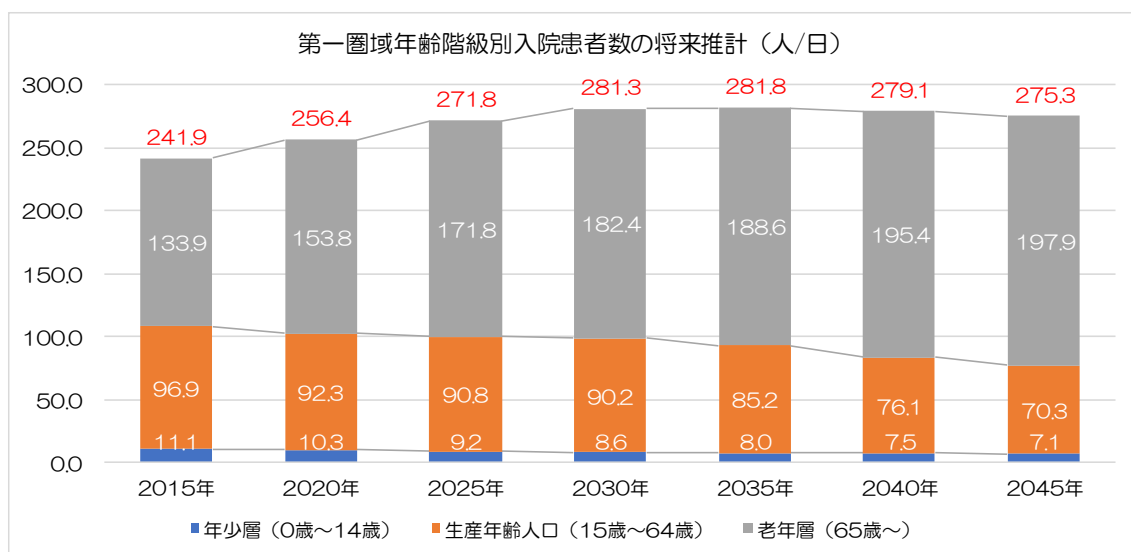
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（外来）」より

(2) 入院患者数推計

入院患者数推計によれば、第一圏域では2030年に約116%に増加し、2045年では約114%、第二圏域では2030年に約118%に増加し、2045年は約115%、第三圏域では2035年に130%、2045年に約130%と、いずれの圏域も現状より増加して推移することが見込まれる。

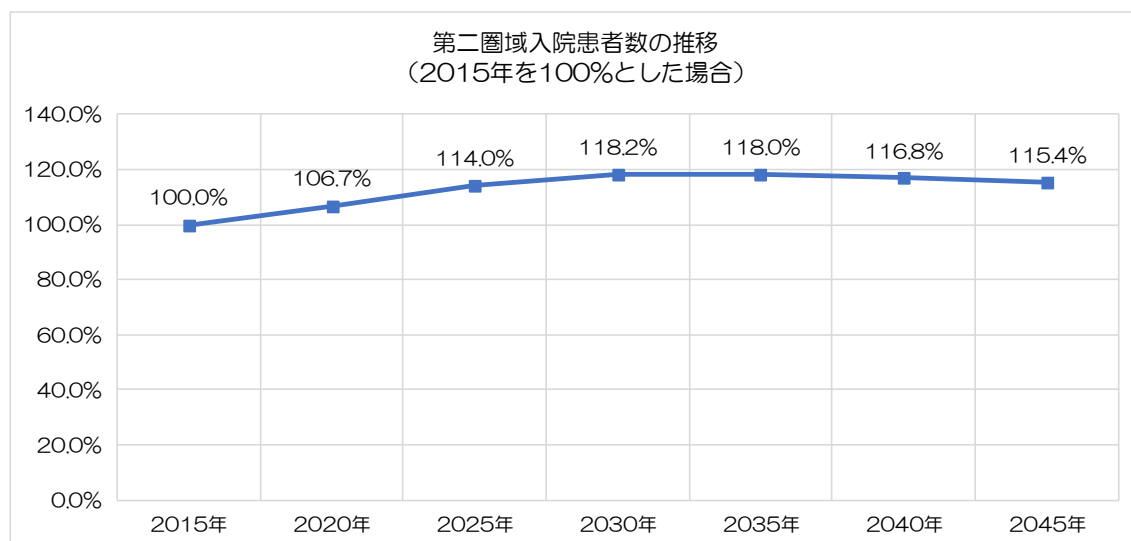
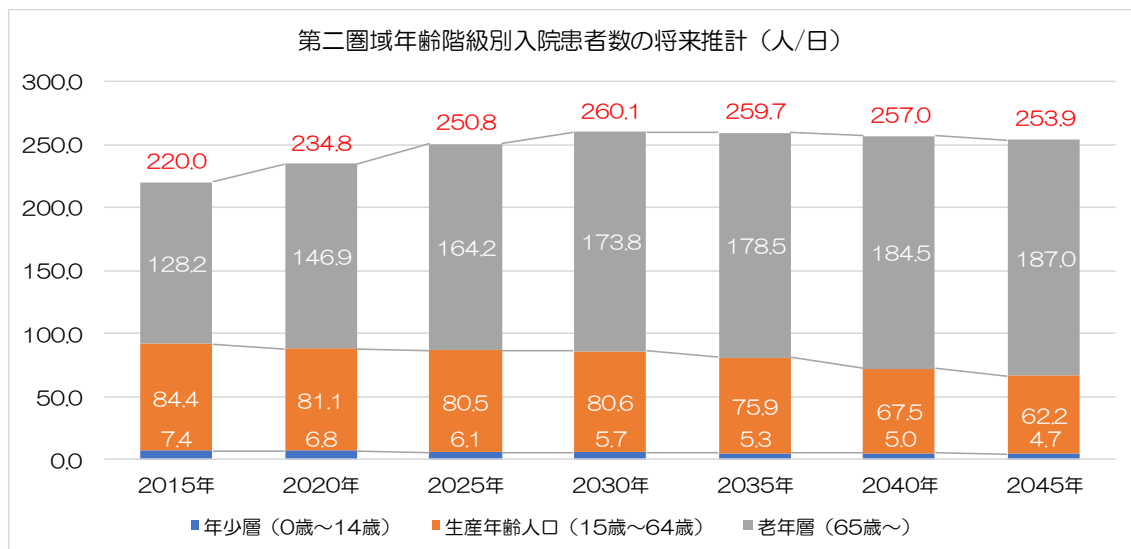
【第一圏域：入院】



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（入院）」より

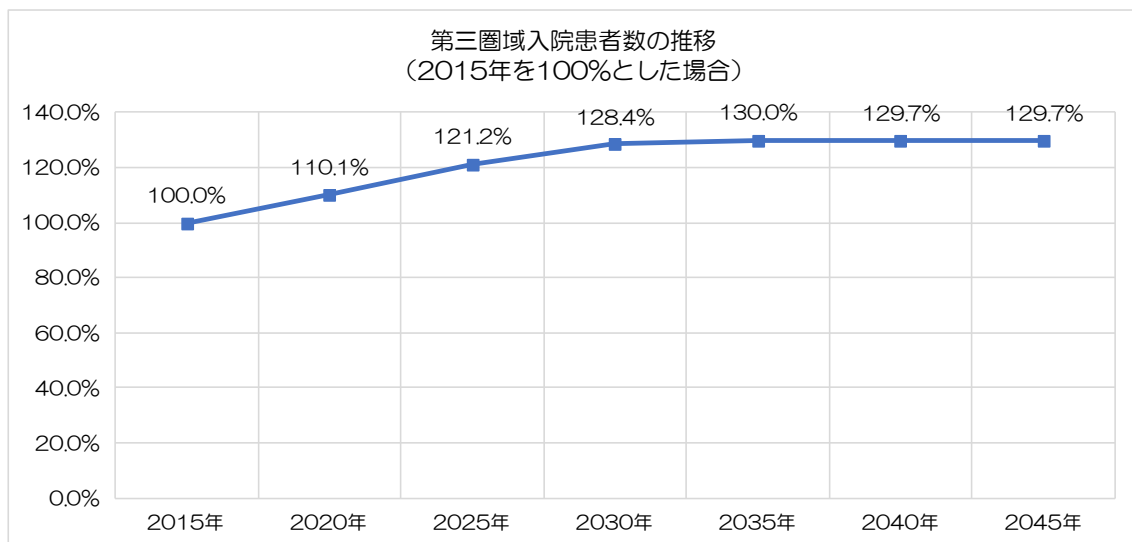
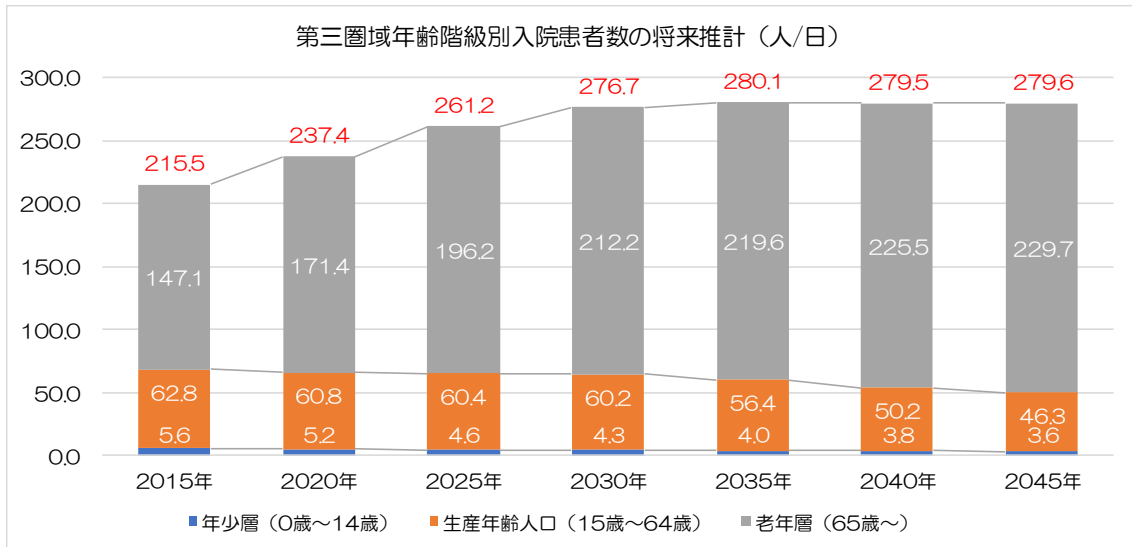
【第二圏域：入院】



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（入院）」より

【第三圏域：入院】



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

※厚生労働省「受療率（人口10万対）、性・年齢階級 × 傷病大分類 × 入院－外来・都道府県別（入院）」より

9. 救急搬送状況調査

(1) 神栖市で発生した救急搬送受入状況

2018年に神栖市で発生した救急搬送件数は3,558件であり、うち神栖市内の医療機関に収容された件数は2,009件(56.5%)である。一方、神栖市外の医療機関に収容された件数は1,549件(43.5%)である。

神栖市で発生した救急搬送件数のうち、軽症が1,878件(52.8%)、中等症が1,331件(37.4%)、重症が272件(7.6%)、死亡が77件(2.2%)である。

収容先地域	軽症		中等症		重症		死亡		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
神栖市	1,300	36.5%	565	15.9%	81	2.3%	63	1.8%	2,009	56.5%
鹿嶋市	302	8.5%	272	7.6%	39	1.1%	6	0.2%	619	17.4%
行方市	12	0.3%	7	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	21	0.6%
鉾田市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
潮来市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鹿行医療圏	1,614	45.4%	844	23.7%	122	3.4%	69	1.9%	2,649	74.5%
その他茨城県	20	0.6%	67	1.9%	29	0.8%	0	0.0%	116	3.3%
旭市	125	3.5%	307	8.6%	69	1.9%	4	0.1%	505	14.2%
銚子市	83	2.3%	42	1.2%	5	0.1%	4	0.1%	134	3.8%
香取市	17	0.5%	14	0.4%	1	0.0%	0	0.0%	32	0.9%
匝瑳市	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
東庄町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
香取海匠保健医療圏	226	6.4%	363	10.2%	75	2.1%	8	0.2%	672	18.9%
その他千葉県	18	0.5%	56	1.6%	45	1.3%	0	0.0%	119	3.3%
その他都道府県	0	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
合計	1,878	52.8%	1,331	37.4%	272	7.6%	77	2.2%	3,558	100.0%

※「鹿島地方事務組合消防本部 2018年1月～12月データ」より

(2) 医療機関別受入状況

神栖市で発生した救急搬送患者は、市内であれば神栖済生会病院や白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック等に搬送されており、市外であれば小山記念病院(鹿嶋市)や国保旭中央病院(千葉県旭市)、島田総合病院(千葉県銚子市)等の医療機関に搬送されている。

重症患者については、鹿行医療圏域外の千葉県所在の医療機関(国保旭中央病院や日本医科大学千葉北総病院、成田赤十字病院)への搬送件数が多い。

高度急性期医療機関である国保旭中央病院に多くの軽傷・中等症の救急患者が搬送されている。

No.	施設名称	軽症		中等症		重症		死亡		合計	
		受入件数	割合	受入件数	割合	受入件数	割合	受入件数	割合	受入件数	割合
1	神栖済生会病院	1,878	52.8%	1,331	37.4%	272	7.6%	77	2.2%	3,558	100.0%
2	白十字総合病院										
3	小山記念病院										
4	旭中央病院										
5	鹿島労災病院										
6	島田総合病院										
7	日本医科大学千葉北総病院										
8	土浦協同病院										
9	成田赤十字病院										
10	鹿嶋ハートクリニック										
	その他										

※「鹿島地方事務組合消防本部 2018年1月～12月データ」より

(3) 将来救急搬送件数推計

神栖市の将来救急搬送件数は、高齢者の増加に伴い、「軽症」は微増、「中等症」・「重症」・「死亡」は増加することが予測される。



※「鹿島地方事務組合消防本部 2017 年 1 月～12 月データ」

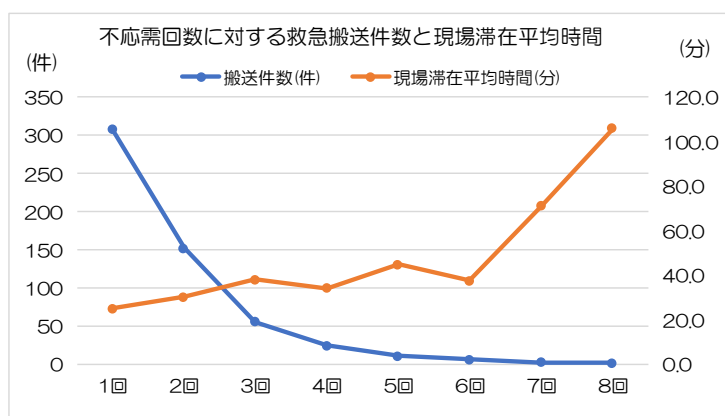
※「神栖市年齢階級別住民基本台帳人口（2018 年 1 月 1 日現在）」

※※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018 年推計）」より

(4) 救急搬送と不応需の関係性

鹿島地方事務組合消防本部における救急搬送の課題である搬送時間について見ると、不応需の回数との相関関係が見られる。不応需の多い疾患では、心疾患等や精神系、脳疾患等が挙げられ、不応需回数が多いほど、搬送時間が長い傾向にある。

不応需回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	合計
搬送件数(件)	308	152	55	24	10	6	2	1	558
現場滞在平均時間(分)	25.0	30.3	38.0	34.0	44.7	37.5	71.0	106.0	28.9



不応需回数ごとの疾病分類別救急搬送件数と現場滞在平均時間（2019年4月～9月）

不応需回数		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	合計
急病に関するもの	心疾患等	搬送件数(件)	17	8	3		1			29
		現場滞在平均時間(分)	24.1	26.5	31.3		68.0			27.0
	精神系	搬送件数(件)	12	5	1	1	1			20
		現場滞在平均時間(分)	31.3	34.8	103.0	47.0	30.0			36.5
	脳疾患	搬送件数(件)	18							18
		現場滞在平均時間(分)	25.1							25.1
	消化器系	搬送件数(件)	7	5	2	1	1			16
		現場滞在平均時間(分)	23.4	35.0	34.0	37.0	39.0			30.2
	呼吸器系	搬送件数(件)	6	3	3					12
		現場滞在平均時間(分)	23.5	43.3	53.0					35.8
	泌尿器系	搬送件数(件)	8	2						10
		現場滞在平均時間(分)	24.0	25.0						24.2
	感覚系	搬送件数(件)	4	2	1	1				8
		現場滞在平均時間(分)	24.0	24.0	52.0	45.0				30.1
	その他	搬送件数(件)	29	17	3	2	1	1	1	54
		現場滞在平均時間(分)	26.0	33.3	27.0	45.0	32.0	51.0	86.0	30.7
急病以外	不明確	搬送件数(件)	76	38	9	8	1	2		134
		現場滞在平均時間(分)	25.5	27.7	39.4	33.4	66.0	37.5		28.0
急病以外		搬送件数(件)	131	72	33	11	5	3	1	257
		現場滞在平均時間(分)	24.2	30.5	35.7	30.0	42.4	33.0	56.0	28.6
合計		搬送件数(件)	308	152	55	24	10	6	2	558
		現場滞在平均時間(分)	25.0	30.3	38.0	34.0	44.7	37.5	71.0	28.9

※「鹿島地方事務組合消防本部 2019年4月～9月データ」より

(5) 市外からの救急搬送受入状況

鹿行広域事務組合消防本部から市内への搬送では、白十字総合病院へ約 6%、神栖済生会病院へ約 3%が搬送されている。両病院ともに、市内だけでなく、広域的な救急患者受入機関としての役割を果たしている。また、神栖済生会病院は市内・市外にて発生した小児救急搬送（0～14 歳）のうち、38%を受け入れている。

2019年4月～9月の実績

	市内発生 救急搬送	市外発生 救急搬送	市内・市外発生 救急搬送	備考
	受入割合	受入割合	受入割合	
白十字総合病院	19.4%	5.8%	11.8%	・神栖済生会病院は、市内・市外にて発生した小児救急搬送（0～14歳）の38.0%を受け入れている。
神栖済生会病院	27.1%	3.1%	13.6%	
鹿嶋ハートクリニック	1.6%	0.8%	1.2%	
その他の医療機関	51.8%	90.3%	73.5%	・神栖済生会病院が受入れている救急搬送患者の24.5%が小児救急患者（0～14歳）である。
合計	100.0%	100.0%	100.0%	

※鹿島地方事務組合消防本部「救急搬送データ（2019年4月～9月）」より

※鹿行広域事務組合消防本部「救急搬送データ（2019年4月～9月）」より

10. 患者受療動向（国保・後期高齢者レセプトデータ分析）

（1）入院患者の受療動向

2019年に神栖市で発生した入院患者の45.7%は市内の医療機関を受診しており、主な受診先は白十字総合病院、神栖済生会病院、渡辺病院、鹿嶋ハートクリニック等である。一方、入院患者の54.3%が市外の医療機関を受診している。

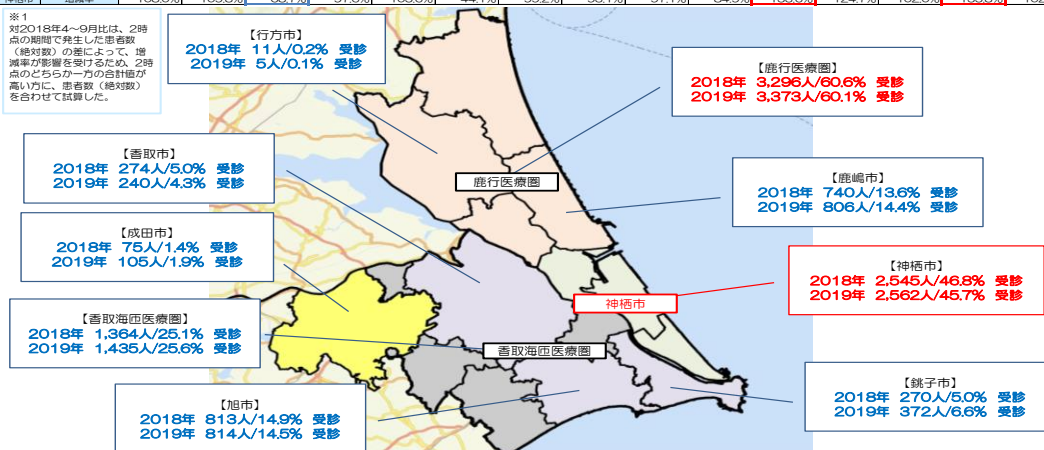
2018年4月～9月	神栖市 (第一医療圏)	神栖市 (第二医療圏)	神栖市 (第三医療圏)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
入院患者数	1,147	625	703	2,545	740	11	3,296	52	813	274	270	7	1,364	79	203	5,440
割合	21.1%	12.5%	12.9%	46.8%	13.6%	0.2%	60.6%	9.2%	14.9%	5.0%	5.0%	0.1%	25.1%	1.4%	3.7%	100.0%

2019年4月～9月	神栖市 (第一医療圏)	神栖市 (第二医療圏)	神栖市 (第三医療圏)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
入院患者数	1,277	757	498	2,562	806	5	3,373	482	814	240	372	9	1,435	105	215	5,610
割合	22.8%	14.0%	8.9%	45.7%	14.4%	0.1%	60.1%	8.6%	14.5%	4.3%	6.6%	0.2%	25.6%	1.9%	3.8%	100.0%

対2018年4～9月比 ※1	神栖市 (第一医療圏)	神栖市 (第二医療圏)	神栖市 (第三医療圏)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
増減率	108.0%	109.8%	68.7%	97.6%	105.6%	44.1%	99.2%	93.1%	97.1%	84.9%	133.6%	124.7%	102.0%	135.8%	102.7%	100.0%

※1

対2018年4～9月比は、2時点の期間で発生した患者数（絶対数）の差によって、増減率が影響を受けるため、2時点のどちらか一方の合計値が高い方に、患者数（絶対数）を合わせて試算した。



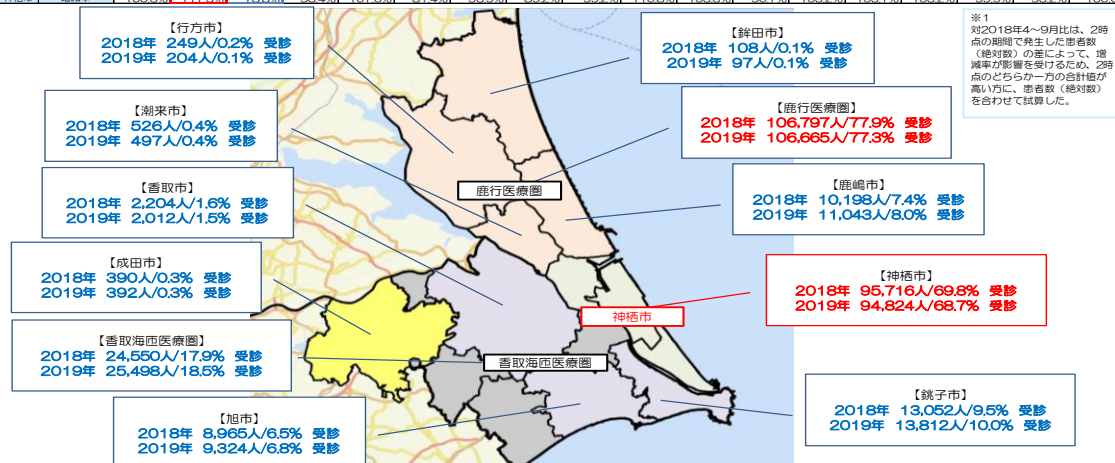
（2）外来患者の受療動向

2019年に神栖市で発生した外来患者の68.7%が神栖市内の医療機関を受診しており、外来患者の31.3%が市外の医療機関を受診している。

2018年4月～9月	神栖市 (第一医療圏)	神栖市 (第二医療圏)	神栖市 (第三医療圏)	神栖市	鹿嶋市	行方市	潮来市	鉾田市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
外来患者数	46,936	22,522	26,258	95,716	10,198	249	526	108	106,797	2,206	8,965	2,204	13,052	329	24,550	390	3,119	137,062
割合	34.2%	16.4%	19.2%	69.8%	7.4%	0.2%	0.4%	0.1%	77.9%	1.6%	6.5%	1.6%	9.5%	0.2%	17.9%	0.3%	2.3%	100.0%

2019年4月～9月	神栖市 (第一医療圏)	神栖市 (第二医療圏)	神栖市 (第三医療圏)	神栖市	鹿嶋市	行方市	潮来市	鉾田市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
外来患者数	47,357	26,635	20,832	94,824	11,043	204	497	97	106,665	2,459	9,324	2,012	13,812	350	25,498	392	2,925	137,939
割合	34.3%	19.3%	15.1%	68.7%	8.0%	0.1%	0.4%	0.1%	77.3%	1.8%	6.8%	1.5%	10.0%	0.3%	18.5%	0.3%	2.1%	100.0%

対2018年4～9月比 ※1	神栖市 (第一医療圏)	神栖市 (第二医療圏)	神栖市 (第三医療圏)	神栖市	鹿嶋市	行方市	潮来市	鉾田市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
増減率	100.3%	117.6%	78.8%	98.4%	107.6%	81.4%	93.6%	89.2%	99.2%	110.8%	103.3%	90.7%	105.2%	105.7%	103.2%	99.6%	93.2%	100.0%



※1
対2018年4～9月比は、2時点の期間で発生した患者数（絶対数）の差によって、増減率が影響を受けるため、2時点のどちらか一方の合計値が高い方に、患者数（絶対数）を合わせて試算した。

(3) 高度急性期患者の受療動向（入院診療単価 50,000 円以上）

神栖市で発生した重症の心筋梗塞、脳卒中、がん診療、交通外傷などの高度急性期入院患者の約 27%が市内の医療機関を受診している。主な受診先は神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニックである。

一方、高度急性期入院患者の約 73%が市外の医療機関を受診しており、主な受診先は、国保旭中央病院、小山記念病院、島田総合病院等である。

	白十字 総合病院	鹿嶋ハートク リニック	神栖 済生会病院	神栖市 合計 (A)	小山記念 病院	その他県内 医療機関	その他 茨城県内	国保旭 中央病院	島田総合病院	成田 赤十字病院	その他 茨城県外	合計 (B)	市外受診状況 (B-(A))
01 感染症及び寄生虫症			65.0%	65.0%			5.0%	20.0%	5.0%		5.0%	100.0%	35.0%
02 新生物	3.6%		13.7%	17.4%	10.1%		8.8%	45.1%	0.8%	4.1%	13.7%	100.0%	82.6%
03 循環及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害			33.3%	33.3%	16.7%			25.0%	16.7%		8.3%	100.0%	66.7%
04 内分沁、栄養及び代謝疾患	8.2%	2.7%	47.9%	58.9%	1.4%		2.7%	9.6%	23.3%		4.1%	100.0%	41.1%
05 精神及び行動の障害													
06 神経系の疾患	11.1%		16.7%	27.8%	16.7%		19.4%	19.4%	5.6%		11.1%	100.0%	72.2%
07 眼及び付属器の疾患	16.9%		2.8%	19.7%	5.1%	23.0%	11.8%	14.6%	3.9%		21.9%	100.0%	80.3%
08 耳及び乳突突起の疾患	25.0%			25.0%			25.0%			25.0%	25.0%	100.0%	75.0%
09 循環器系の疾患	4.9%	27.6%	4.9%	37.3%	14.3%		5.4%	28.4%	6.9%	1.3%	6.4%	100.0%	62.7%
10 呼吸器系の疾患	14.5%	1.8%	14.5%	30.9%	5.5%		14.5%	43.6%	3.6%		1.8%	100.0%	69.1%
11 消化器系の疾患	28.0%		12.5%	40.5%	8.9%		1.8%	38.1%	3.6%	4.2%	3.0%	100.0%	59.5%
12 皮膚及び皮下組織の疾患	7.7%		61.5%	69.2%			7.7%	23.1%				100.0%	30.8%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	9.4%		3.1%	12.5%	4.7%		3.1%	20.3%	1.6%	3.1%	54.7%	100.0%	87.5%
14 内分泌系疾患	3.9%		3.9%	7.8%	8.8%	21.6%	5.9%	46.1%	6.9%		2.9%	100.0%	92.2%
15 妊娠、分娩及び産後	6.7%			6.7%	46.7%		6.7%	33.3%	6.7%			100.0%	93.3%
16 産後期に発生した病態							41.7%	50.0%		8.3%		100.0%	100.0%
17 先天畸形、変形及び染色体異常							16.7%	41.7%		16.7%	25.0%	100.0%	100.0%
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22.2%		38.9%	61.1%				16.7%	22.2%			100.0%	38.9%
19 中毒、中毒及びその他の外因の影響	8.6%		1.1%	9.7%	30.1%	1.1%	10.8%	23.7%	2.2%	2.2%	20.4%	100.0%	90.3%
21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保護サービスの利用													
合計	9.3%	6.7%	11.3%	27.2%	10.8%	3.9%	7.6%	31.7%	5.0%	2.2%	11.7%	100.0%	72.8%

(4) 急性期患者の受療動向（入院診療単価 27,000 円～50,000 円未満）

神栖市で発生した中等症の心筋梗塞、脳卒中、がん診療、交通外傷などの急性期入院患者の約 54%が市内の医療機関を受診しており、主な受診先は神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック等である。一方、急性期入院患者の約 46%が市外の医療機関を受診している。主な受診先は、国保旭中央病院、小山記念病院、島田総合病院等である。

	白十字 総合病院	鹿嶋ハートク リニック	神栖 済生会病院	茨城病院	神栖市 合計 (A)	小山記念 病院	鹿島病院	鹿島神宮 記念病院	その他県内 医療機関	その他 茨城県内	国保旭 中央病院	島田総合病院	成田 赤十字病院	その他 茨城県外	合計 (B)	市外受診状況 (B-(A))
01 感染症及び寄生虫症	7.2%		60.9%		68.1%	10.1%	1.4%			4.3%	2.9%	5.8%		7.2%	100.0%	31.9%
02 新生物	11.2%		24.1%		35.3%	10.8%				11.6%	24.1%	0.9%	1.7%	15.5%	100.0%	64.7%
03 循環及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	13.6%		45.5%		59.1%				4.5%	0.0%	27.3%	9.1%			100.0%	40.9%
04 内分沁、栄養及び代謝疾患	24.9%		54.7%	2.0%	82.6%	3.0%				1.0%	2.5%	9.0%		2.0%	100.0%	17.4%
05 精神及び行動の障害	21.7%		30.4%		52.2%		4.3%			13.0%	17.4%		13.0%		100.0%	47.8%
06 神経系の疾患	44.8%		15.5%	0.9%	61.2%	14.7%	11.2%			9.5%	0.9%	1.7%		0.9%	100.0%	38.8%
07 眼及び付属器の疾患	20.0%		10.0%		30.0%					20.0%	35.0%			15.0%	100.0%	70.0%
08 耳及び乳突突起の疾患	28.6%		28.6%		57.1%					14.3%	14.3%	14.3%			100.0%	42.9%
09 循環器系の疾患	31.2%	11.1%	16.6%	0.4%	59.3%	9.3%	5.1%	1.2%	0.4%	2.0%	6.7%	7.3%	0.8%	7.9%	100.0%	40.7%
10 呼吸器系の疾患	20.6%		27.1%		47.7%	18.7%	3.7%			5.6%	15.0%	8.4%	0.9%		100.0%	52.3%
11 消化器系の疾患	32.9%		27.6%	0.6%	61.2%	12.4%				1.8%	12.9%	5.3%	1.2%	5.3%	100.0%	38.8%
12 皮膚及び皮下組織の疾患	16.7%		29.2%	4.2%	50.0%					12.5%	29.2%		4.2%	4.2%	100.0%	50.0%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	37.7%		9.6%		47.4%	6.1%	0.9%		1.8%	0.9%	14.0%	5.3%		23.7%	100.0%	52.6%
14 内分泌系疾患	8.5%		8.5%		17.0%	14.9%			7.4%	22.3%	25.5%	4.3%		8.5%	100.0%	83.0%
15 妊娠、分娩及び産後						53.8%			7.7%		23.1%	15.4%			100.0%	100.0%
16 産後期に発生した病態						50.0%						50.0%			100.0%	100.0%
17 先天畸形、変形及び染色体異常	60.0%		20.0%		80.0%						20.0%				100.0%	20.0%
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	49.1%		34.0%		83.0%					1.9%	7.5%	7.5%			100.0%	17.0%
19 中毒、中毒及びその他の外因の影響	31.0%		1.4%		32.4%	16.6%	15.9%			3.4%	14.5%	2.1%	0.7%	14.5%	100.0%	67.6%
21 健康状態に影響を及ぼす要因及び保護サービスの利用																
合計	26.6%	3.0%	23.6%	0.5%	53.6%	10.2%	3.6%	0.3%	0.7%	5.3%	12.0%	5.4%	0.8%	8.1%	100.0%	46.4%

(5) 回復期患者の受療動向（入院診療単価 20,000 円～27,000 円未満）

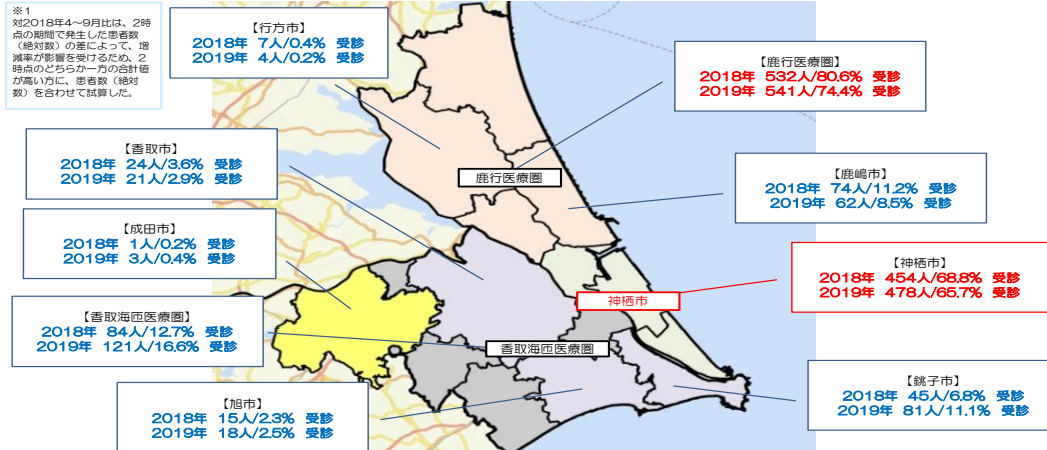
神栖市で発生した回復期に該当すると仮定した入院患者の 65.7%が神栖市内の医療機関を受診しており、34.3%が市外（銚子市：11.1%、鹿嶋市：8.5%）を受診している。

2018年4月～9月	神栖市 (第一圏域)	神栖市 (第二圏域)	神栖市 (第三圏域)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
神栖市 入院患者数	171	106	178	454	74	4	532	35	15	24	45	0	84	1	8	660
割合	25.9%	15.9%	27.0%	68.8%	11.2%	0.6%	80.6%	5.3%	2.3%	3.6%	6.8%	0.0%	12.7%	0.2%	1.2%	100.0%

2019年4月～9月	神栖市 (第一圏域)	神栖市 (第二圏域)	神栖市 (第三圏域)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
神栖市 入院患者数	210	130	138	478	62	1	541	42	18	21	81	1	121	3	20	727
割合	28.9%	17.9%	19.0%	65.7%	8.5%	0.1%	74.4%	5.8%	2.5%	2.9%	11.1%	0.1%	16.6%	0.4%	2.8%	100.0%

対2018年4～9月比 ※1	神栖市 (第一圏域)	神栖市 (第二圏域)	神栖市 (第三圏域)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
神栖市 増減率	111.5%	112.4%	70.4%	95.6%	76.1%	22.7%	92.3%	108.9%	108.9%	79.4%	163.4%	—	130.8%	272.4%	227.0%	100.0%

※1
対2018年4～9月比は、2時
点の期間で発生した患者数
(絶対数)の差によって、増
減率が影響を受けるため、2
時点のどちらか一方の合計値
が高い方に、患者数(絶対
数)を合わせて試算した。



(6) 慢性期患者の受療動向（入院診療単価 20,000 円未満）

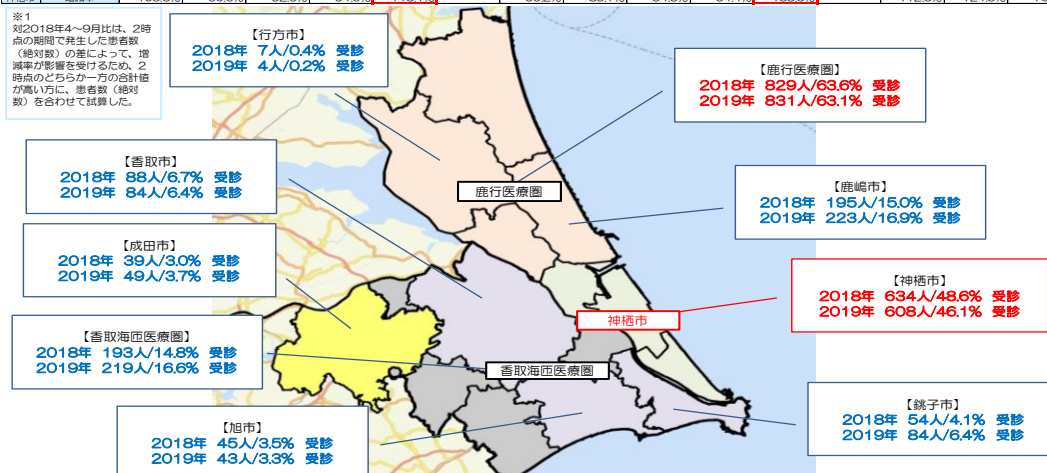
神栖市で発生した慢性期に該当すると仮定した入院患者の 46.1%が神栖市内の医療機関を受診しており、53.9%が市外（鹿嶋市：16.9%、銚子市：6.4%、香取市：6.4%）を受診している。

2018年4月～9月	神栖市 (第一圏域)	神栖市 (第二圏域)	神栖市 (第三圏域)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
神栖市 入院患者数	228	31	375	634	195	0	829	236	45	88	54	6	193	39	7	1,304
割合	17.5%	2.4%	28.8%	48.6%	15.0%	0.0%	63.6%	18.1%	3.5%	6.7%	4.1%	0.5%	14.8%	3.0%	0.5%	100.0%

2019年4月～9月	神栖市 (第一圏域)	神栖市 (第二圏域)	神栖市 (第三圏域)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
神栖市 入院患者数	228	19	351	608	223	0	831	214	43	84	84	8	219	49	5	1,318
割合	18.1%	1.4%	26.6%	46.1%	16.9%	0.0%	63.1%	16.2%	3.3%	6.4%	6.4%	0.6%	16.6%	3.7%	0.4%	100.0%

対2018年4～9月比 ※1	神栖市 (第一圏域)	神栖市 (第二圏域)	神栖市 (第三圏域)	神栖市	鹿嶋市	行方市	鹿行医療圏	その他 茨城県内	旭市	香取市	銚子市	その他香取 海浜医療圏内	香取海浜 医療圏	成田市	その他 茨城県外	合計
神栖市 増減率	103.3%	60.6%	92.6%	94.9%	113.1%	—	99.2%	89.7%	94.5%	94.4%	153.9%	—	112.3%	124.3%	70.7%	100.0%

※1
対2018年4～9月比は、2時
点の期間で発生した患者数
(絶対数)の差によって、増
減率が影響を受けるため、2
時点のどちらか一方の合計値
が高い方に、患者数(絶対
数)を合わせて試算した。



(7) 疾病別・流出・入院患者ランキング（全疾病）

疾病別流出入院患者では、特に、高度急性期・急性期入院患者の①がん疾患、②循環器系の疾患、③損傷、中毒及びその他の外因の影響、④腎尿路生殖器系の疾患、⑤消化器系の疾患、⑥眼及び付属器の疾患に係る患者の市外受診件数が多い。

疾病大分類		神栖市内	神栖市外	合計	市外受診割合
02	新生物	149	469	618	75.9%
09	循環器系の疾患	439	446	885	50.4%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	56	182	238	76.5%
14	腎尿路生殖器系の疾患	24	172	196	87.8%
11	消化器系の疾患	172	166	338	49.1%
7	眼及び付属器の疾患	41	157	198	79.3%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	62	116	178	65.2%
10	呼吸器系の疾患	68	94	162	58.0%
06	神経系の疾患	81	71	152	46.7%
04	内分泌、栄養及び代謝疾患	209	65	274	23.7%
01	感染症及び寄生虫症	60	29	89	32.6%
15	妊娠、分娩及び産じょく	1	27	28	96.4%
03	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17	17	34	50.0%
12	皮膚及び皮下組織の疾患	21	16	37	43.2%
16	周産期に発生した病態		16	16	100.0%
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	55	16	71	22.5%
17	先天奇形、変形及び染色体異常	4	13	17	76.5%
05	精神及び行動の障害	12	11	23	47.8%
08	耳及び乳様突起の疾患	5	6	11	54.5%
21	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
合計		1,476	2,089	3,565	58.6%

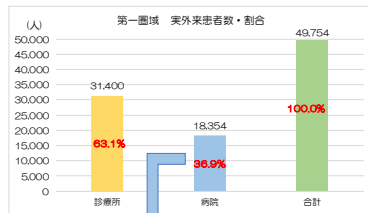
(8) 圏域別・外来診療施設の受領動向

市民の外来診療施設の受療動向を見ると、第二圏域では、外来患者の受診先を病院とする割合が第一、第三圏域よりも高く、病院受診者のうち約 44%が神栖済生会病院である。

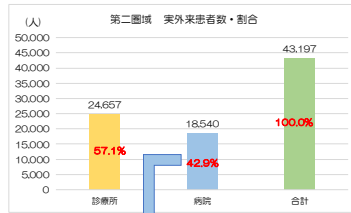
第一圏域の 外来患者数	診療所	病院	合計
外来患者数	31,400	18,354	49,754
件数の割合	63.1%	36.9%	100.0%

第二圏域の 外来患者数	診療所	病院	合計
外来患者数	24,657	18,540	43,197
件数の割合	57.1%	42.9%	100.0%

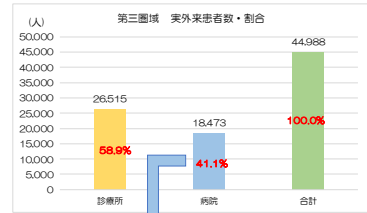
第三圏域の 外来患者数	診療所	病院	合計
外来患者数	26,515	18,473	44,988
件数の割合	58.9%	41.1%	100.0%



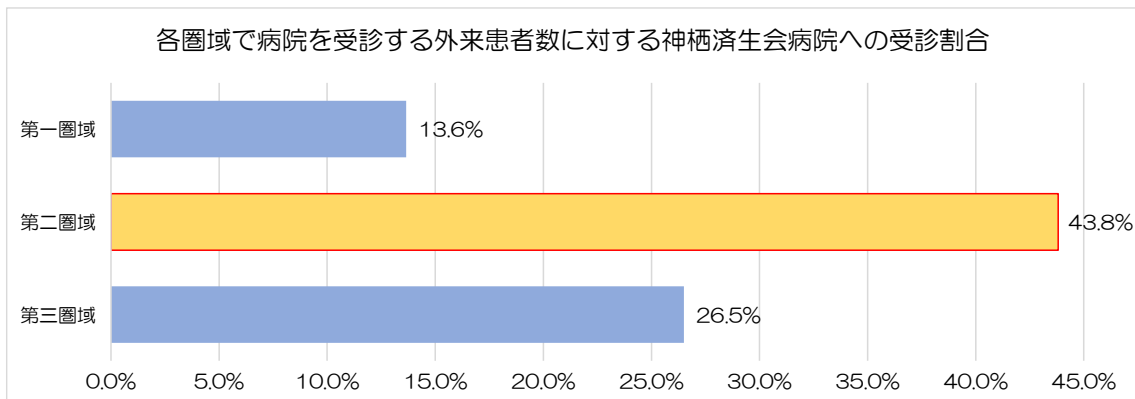
病院名称	外来患者数	患者割合
A病院	8,134	44.3%
神栖済生会病院	2,506	13.6%
B病院	2,390	13.0%
C病院	1,825	9.9%
D病院	586	3.2%
E病院	360	2.0%
F病院	284	1.5%
その他の病院	2,270	12.4%
合計	18,354	100.0%



病院名称	外来患者数	患者割合
神栖済生会病院	8,123	43.8%
C病院	2,699	14.6%
A病院	2,199	11.9%
G病院	1,228	6.6%
B病院	1,136	6.1%
D病院	451	2.4%
H病院	429	2.3%
その他の病院	2,275	12.3%
合計	18,540	100.0%



病院名称	外来患者数	患者割合
神栖済生会病院	4,895	26.5%
C病院	3,862	20.9%
G病院	2,747	14.9%
H病院	2,660	14.4%
I病院	729	3.9%
J病院	670	3.6%
K病院	511	2.8%
その他の病院	2,399	13.0%
合計	18,473	100.0%



※神栖市国保年金課「国民健康保険レセプトデータ 神栖市（2018年4～9月分、2019年4～9月分）」

※茨城県後期高齢者医療広域連合「後期高齢者保険レセプトデータ 神栖市（2018年4～9月分、2019年4～9月分）」より

(9) 第三圏域における再編統合後の患者受療動向

鹿島労災病院と神栖済生会病院の再編統合後、第三圏域で発生した入院患者が市内医療機関に入院した「充足率」は、約43%から35%に減少しており、約65%の入院患者が市外の医療機関を受診していることになる。

同様に外来患者が市内医療機関を外来受診した「充足率」は、約58%から56%に減少している。主な受診先は、永木外科胃腸科医院(5.8%→6.3%)や渡辺病院(5.7%→6.1%)の他に、神栖済生会病院(7.7%→10.9%)や島田総合病院(5.5%→5.9%)等である。

【入院】

2018年4月～9月	神栖済生会病院	白十字総合病院	済仁会病院	渡辺病院	鹿島労災病院	鹿嶋ハートクリニック	神栖市合計	小山記念病院	鹿島病院	鹿島神宮前病院	その他鹿行医療圏内	その他茨城県内	国保旭中央病院	島田総合病院	成田赤十字病院	その他茨城県外	合計
神栖市割合	12.0%	4.4%	4.9%	14.7%	5.5%	1.4%	42.9%	2.2%	1.6%	0.1%	0.8%	6.6%	21.8%	9.2%	0.3%	14.5%	100.0%



再編統合後

2019年4月～9月	神栖済生会病院	白十字総合病院	済仁会病院	渡辺病院	鹿島労災病院	鹿嶋ハートクリニック	神栖市合計	小山記念病院	鹿島病院	鹿島神宮前病院	その他鹿行医療圏内	その他茨城県内	国保旭中央病院	島田総合病院	成田赤十字病院	その他茨城県外	合計
神栖市割合	12.2%	4.7%	4.5%	11.2%	0.0%	1.8%	34.5%	3.0%	3.4%	0.0%	0.9%	6.2%	22.9%	12.4%	0.4%	16.2%	100.0%
対2018年4月～9月比	102.2%	106.7%	92.1%	75.8%	—	133.7%	80.4%	137.2%	211.3%	—	114.6%	95.1%	105.0%	135.2%	117.0%	111.7%	100.0%

※対2018年4～9月比は、2時点の期間で発生した患者数(絶対数)の差によって、増減率が影響を受けるため、2時点のどちらか一方の合計値が高い方に、患者数(絶対数)を合わせて試算した。

【外来】

2018年4月～9月	神栖済生会病院	白十字総合病院	鹿島労災病院	児玉医院	小田医院	永木外科胃腸科医院	かしまなだ診療所	牧医院	渡辺病院	鹿嶋ハートクリニック	その他神栖市内(第一圏域)	その他神栖市内(第二圏域)	その他神栖市内(第三圏域)	神栖市合計	その他鹿行医療圏内	その他茨城県内	国保旭中央病院	島田総合病院	その他茨城県外	合計
神栖市割合	7.7%	0.9%	9.2%	1.1%	10.7%	5.8%	0.2%	0.1%	5.7%	1.4%	3.9%	0.6%	11.0%	58.4%	2.1%	0.7%	7.9%	5.5%	25.5%	100.0%



再編統合後

2019年4月～9月	神栖済生会病院	白十字総合病院	鹿島労災病院	児玉医院	小田医院	永木外科胃腸科医院	かしまなだ診療所	牧医院	渡辺病院	鹿嶋ハートクリニック	その他神栖市内(第一圏域)	その他神栖市内(第二圏域)	その他神栖市内(第三圏域)	神栖市合計	その他鹿行医療圏内	その他茨城県内	国保旭中央病院	島田総合病院	その他茨城県外	合計
神栖市割合	10.9%	1.0%	0.0%	1.2%	10.7%	6.3%	0.3%	0.1%	6.1%	1.6%	4.1%	0.9%	12.8%	56.0%	2.5%	0.7%	8.6%	5.9%	26.3%	100.0%
対2018年4月～9月比	141.5%	112.2%	—	112.7%	100.1%	107.5%	127.4%	132.5%	107.0%	110.1%	103.8%	148.9%	116.8%	95.9%	119.6%	99.7%	108.4%	107.9%	103.4%	100.0%

※対2018年4～9月比は、2時点の期間で発生した患者数(絶対数)の差によって、増減率が影響を受けるため、2時点のどちらか一方の合計値が高い方に、患者数(絶対数)を合わせて試算した。

※神栖市国保年金課「国民健康保険レセプトデータ 神栖市(2018年4～9月分、2019年4～9月分)」

※茨城県後期高齢者医療広域連合「後期高齢者保険レセプトデータ 神栖市(2018年4～9月分、2019年4～9月分)」より

1 1. その他参考データ

(1) 神栖市の標準化死亡比

2019 年茨城県市町村別健康指標によれば、神栖市の標準化死亡比は、男女ともに全国に比して有意に高いと示されている。男性は、急性心筋梗塞、脳梗塞、肝及び胆管の悪性新生物、脳血管疾患など 13 指標中 9 指標が全国に比して有意に高く、女性では悪性新生物、脳梗塞、脳血管疾患、急性心筋梗塞、肺炎など 15 指標中 6 指標が全国に比して有意に高いと示されている。

【男性】

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物〔再掲〕	結腸及び直腸の悪性新生物〔再掲〕	肝及び胆管内胆管の悪性新生物〔再掲〕	肺の悪性新生物〔再掲〕 気管支及び肺の悪性新生物〔再掲〕	（高血圧性除く）心疾患	急性心筋梗塞〔再掲〕	脳血管疾患	くも膜下出血〔再掲〕	脳内出血〔再掲〕	脳梗塞〔再掲〕	肺炎	慢性閉塞性肺疾患
標準化死亡比	1.18	1.15	1.25	1.29	1.56	1.08	1.23	2.02	1.14	1.54	1.10	1.63	1.29	1.16
死亡数	2,176	727	114	101	89	163	313	128	214	24	58	130	210	37
期待死亡数	1,850.7	634.5	91.3	78.1	57.2	151.4	254.8	63.5	151.8	15.6	52.8	79.6	163.2	32.0
期待死亡数との差	325.3	92.5	22.7	22.9	31.8	11.6	58.2	64.5	62.2	8.4	5.2	50.4	46.8	5.0
全国に比べて有意に高い	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	
全国に比べて有意に低い														

【女性】

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物 〔再掲〕	結腸及び直腸の悪性新生物 〔再掲〕	肝及び肝内胆管の悪性新生物 〔再掲〕	肺の悪性新生物 〔再掲〕	気管支及び肺の悪性新生物 〔再掲〕	乳癌の悪性新生物 〔再掲〕	子宮の悪性新生物 〔再掲〕	（高血圧性除く） 心疾患 〔再掲〕	急性心筋梗塞 〔再掲〕	脳血管疾患	くも膜下出血 〔再掲〕	脳内出血 〔再掲〕	脳梗塞 〔再掲〕	肺炎	慢性閉塞性肺疾患
標準化死亡比	1.18	1.15	1.31	1.15	1.15	1.13	1.05	0.78	1.29	1.82	1.87	1.42	1.30	2.3	1.44	0.95	
死亡数	1,869	472	58	70	31	64	43	15	337	79	283	31	50	200	196	8	
期待死亡数	1,579.3	412.0	44.3	60.7	26.9	56.5	41	19.2	260.3	43.5	151.2	21.9	38.4	87.0	136.4	8.1	
期待死亡数との差	289.7	60.0	13.7	9.3	4.1	7.5	2.0	-4.2	76.7	35.5	131.8	9.1	11.6	113.0	59.6	-0.1	
全国に比べて有意に高い	○	○								○	○	○			○	○	
全国に比べて有意に低い																	

※「2019 年茨城県市町村別健康指標」より

(2) 人口 10 万人当たりの医療施設従事者医師数

茨城県は、人口 10 万人当たりの医療施設従事者医師数は約 188 人（2018 年厚生労働省調べ）であり、全国平均の約 247 人を大きく下回っている。なお、鹿行医療圏については約 92 人、神栖市は約 91 人（2018 年茨城県調べ）となっている。

	人口10万人当たり 医療施設従事者医師数（人）
全国	246.7
茨城県	187.5
鹿行医療圏	91.5
神栖市	91.3

- (3) 神栖済生会病院本院・分院の計画（神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合に伴う新病院等整備のための基本構想（平成 29 年 4 月 19 日）より一部抜粋）

【以下、基本構想より一部抜粋】

2 本院（新病院）

(1) 基本方針

①本院で目指す急性期医療機能

- これまでの両院（神栖済生会病院・鹿島労災病院）の実績を継承するとともに、医療内容の充実を図り、継続的な医療を提供できる体制を確立する。
- 地域の中核病院として、医療圏外への搬送減少を図り、救急医療や急性期医療の充実に努める。
- 労働災害や職業性疾病に対応するとともに、災害拠点病院として災害時でも継続して医療を提供できる病院を目指す。
- 本院・分院が一体となって医療を提供し、住民が安心して医療を受けられる体制を目指す。

3 分院（診療所）

(4) 病床等

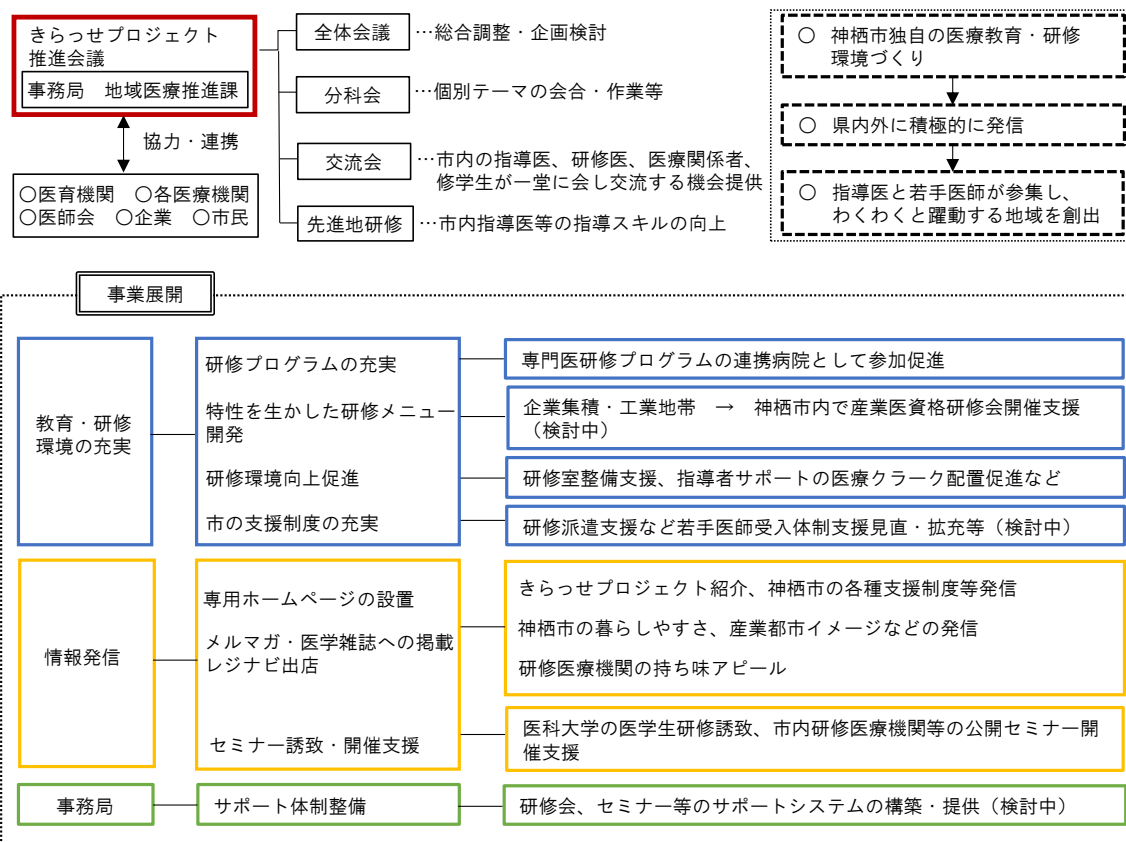
- 分院は有床診療所とし、比較的軽症の患者に対する短期間の入院診療を行う。また本院と連携し、緊急時にも本院で素早く対応できる体制を確保する。

(4) 神栖市若手医師きらっせプロジェクト事業（神栖市ホームページより抜粋）

神栖市若手医師きらっせプロジェクトとは、市内の指導医や医科大学教員参画のもとで、若手医師が市内医療機関で受けられる研修プログラムの充実や、地域の特性を生かした研修メニューの開発などに取り組むとともに、指導体制や派遣研修支援制度の強化、院内の教育設備整備の促進など、教育研修環境づくりを進め、これらを全国に発信していくプロジェクトです。

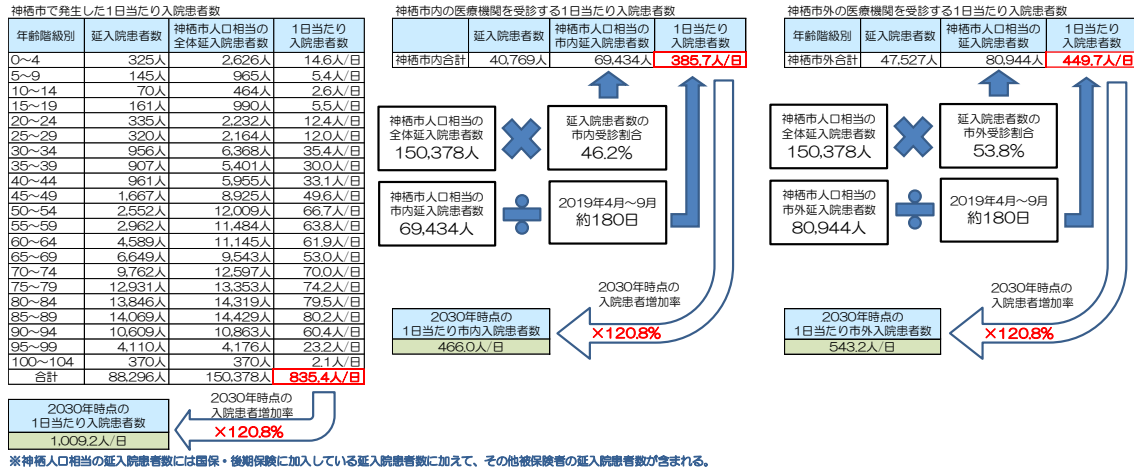
KAMISU ISM
神 栖 医 住
神栖市若手医師きらっせプロジェクト

神栖市若手医師きらっせプロジェクト事業



(5) 新拠点病院整備後の神栖市における入院患者数の動き検証

2019年4月～9月における国保・後期高齢者レセプトデータや将来入院患者数推計等を用いて、神栖市にて発生した1日当たりの入院患者数を試算し、2030年時点の入院患者増加率を用いて、2030年時点の1日当たり入院患者数を算出した。



現状の医療提供体制が継続することを前提とした場合、2030年時点において、神栖市にて発生する1日当たり入院患者数は約1,009人/日であることが試算された。また、2030年時点で神栖市内の医療機関を受診する1日当たり入院患者数は約466人/日であり、神栖市外の医療機関を受診する1日当たり入院患者数は約543人/日である。

上記の結果をもとに、新拠点病院が整備され、かつ、済生会土合クリニックの病床が稼働したことを前提として、神栖市にて発生した1日当たり入院患者数の受療動向を検証した。

【前提条件（仮定）】

対象入院患者：神栖市で発生した入院患者の受診件数/日

時点：2030年

新拠点病院の病床数：急性期 350床（←1日最大受入れ可能患者数）

済生会土合クリニックの病床数：回復期 10床（←1日最大受入れ可能患者数）

病床稼働率：新拠点病院・済生会土合クリニックの病床がすべて稼働（100%）

2030年時点の増床数：神栖市は181床の増床

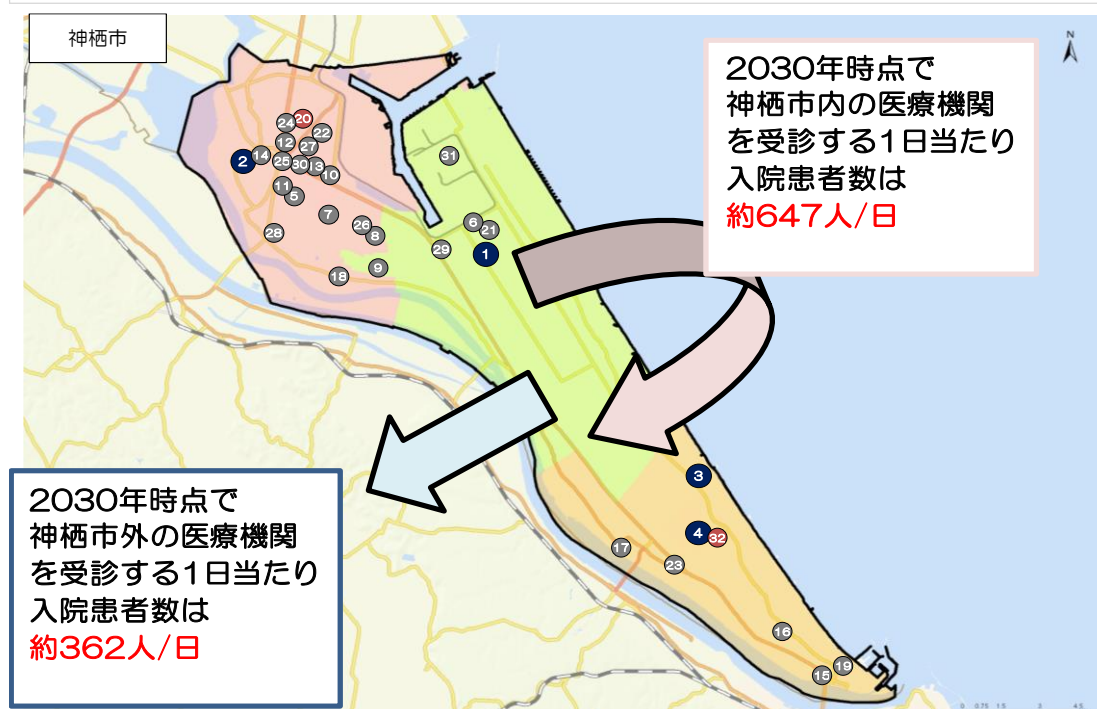
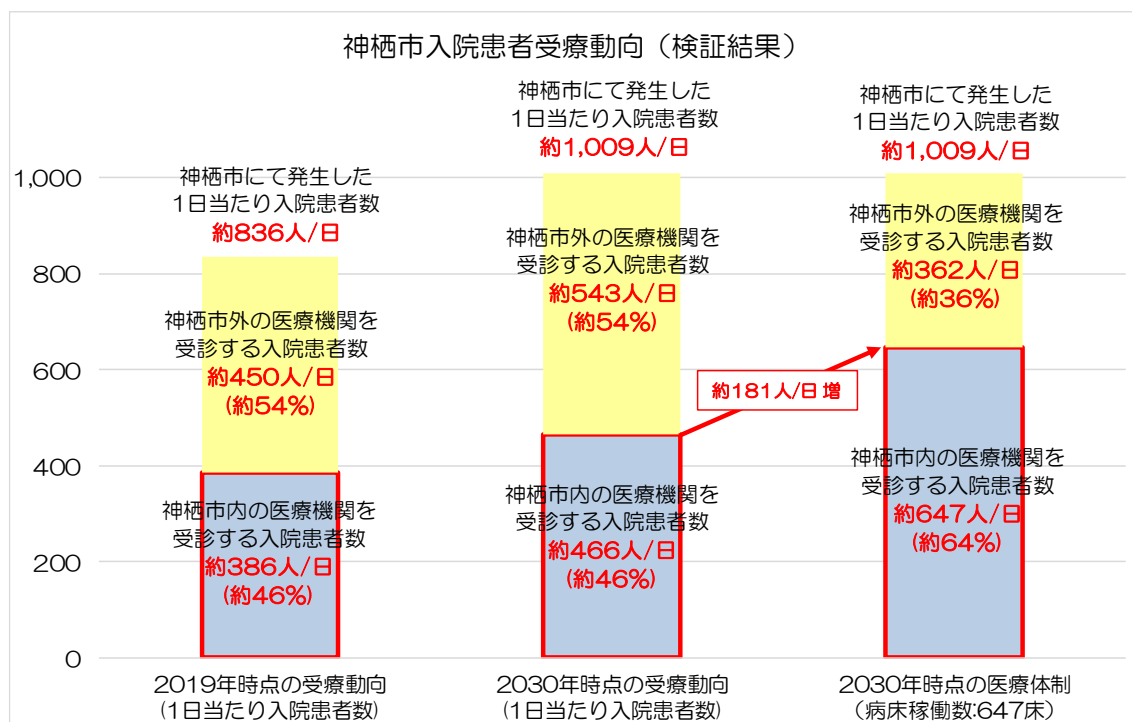
※神栖済生会病院の病床数179床が350床に増床（+171床）

※済生会土合クリニックの10床が稼働（+10床）

2030年時点	稼働病床数	稼働病床数				
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
新拠点病院	350床	0床	350床	0床	0床	0床
済生会土合クリニック	10床	0床	0床	10床	0床	0床
合計	360床	0床	350床	10床	0床	0床

【検証結果】

1日当たり約386人の入院患者が神栖市内の医療機関を受診していた状況から、新拠点病院が整備され、かつ済生会土合クリニックの病床が稼働した場合、1日当たり約647人の入院患者が神栖市内の医療機関を受診する推計結果となった。一方で、新拠点病院が整備され、かつ済生会土合クリニックの病床が稼働したとしても、1日当たり約362人の入院患者数が神栖市外の医療機関を受診する推計結果となった。



【アンケート調査結果】

目 次

1. 市民アンケート調査	・・・・・・・・・・	59
2. 企業アンケート調査	・・・・・・・・・・	64
3. 医療機関アンケート調査	・・・・・・・・・・	68

1. 市民アンケート調査

(1) 調査の目的

この市民アンケート調査は、20歳以上の市民 5,000 人を対象に実施し、市民の皆様の医療機関の受診状況や健康診断の受診、今後の神栖市の医療の在り方に関してどのような感想・お考えをお持ちなのか伺っています。

これにより、市民の皆様が健康かつ安全・安心な生活を送っていただくための施策の一環として「神栖市地域医療体制」を検討することを目的に実施するものです。

(2) 調査の方法

1調査対象者	神栖市に居住する20歳以上の男女
2標本数	5,000人
3抽出方法	住民基本台帳から年代別・居住地域別に無作為抽出
4実施時期	・調査票の設計：令和元年11月 ・調査の実施：令和元年11月28日（木）～令和元年12月12日（木） （回収期限 令和元年12月24日） ・集計分析：令和元年12月～令和2年1月
5配布回収方法	郵送配布・郵送回収
6実施主体	神栖市健康福祉部地域医療推進課

(3) 回収結果

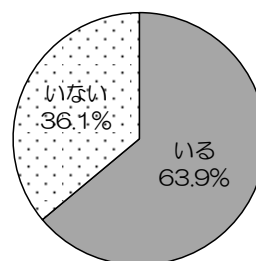
総回収数	1,824票
有効回収数	1,824票
有効回収率	36.5%

(4) 調査結果（抜粋）

問：かかりつけ医はいますか。

選択項目	回答数	構成比
1 いる	1147	63.9%
2 いない	647	36.1%
計	1,794	100.0%
無回答	30	
無効回答	0	
総 計	1,824	

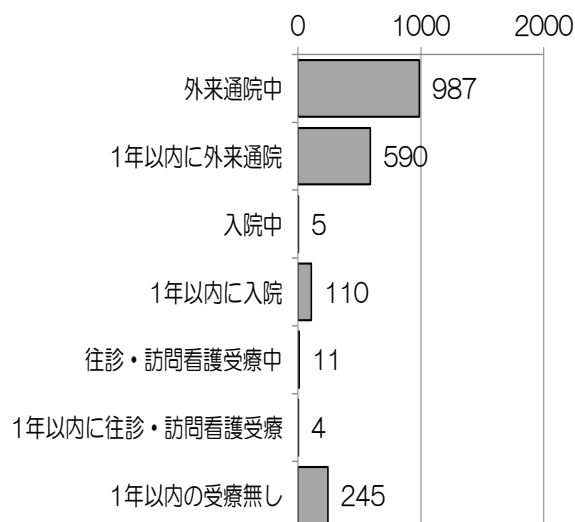
かかりつけ医



問：あなたは、医療機関をどのくらい利用していますか。

選択項目	回答数	構成比
1 現在、定期的に通院している	987	54.7%
2 現在は通院していないが、ここ1年以内に医療機関を外来受診したことがある	590	32.7%
3 現在、入院している	5	0.3%
4 現在は入院していないが、ここ1年以内に医療機関に入院したことがある	110	6.1%
5 往診・訪問看護を受けている	11	0.6%
6 現在は往診・訪問看護を受けていないが、ここ1年以内に往診・訪問看護を受けていた	4	0.2%
7 ここ1年間は医療機関にかかっていない	245	13.6%
計	1,952	
回答者数	1,804	
無回答	20	
無効回答	0	
総 計	1,824	

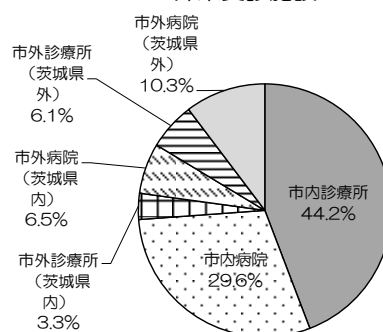
医療機関の利用



問：普段どちらの医療機関を多く利用していますか。

選択項目	回答数	構成比
1 市内診療所・クリニック	649	44.2%
2 市内病院	435	29.6%
3 市外診療所・クリニック（茨城県内）	49	3.3%
4 市外病院（茨城県内）	95	6.5%
5 市外診療所・クリニック（茨城県外）	89	6.1%
6 市外病院（茨城県外）	151	10.3%
計	1,468	100.0%
無回答	13	
無効回答	56	
総 計	1,537	

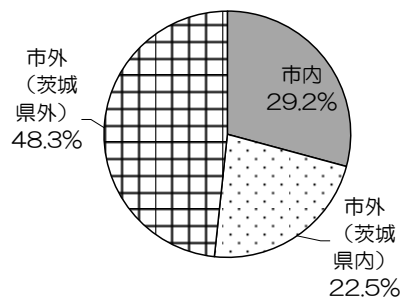
外来受診施設



問：ここ1年以内で一番長く入院した医療機関の場所を教えてください。

選択項目	回答数	構成比
1 市内	26	29.2%
2 市外（茨城県内）	20	22.5%
3 市外（茨城県外）	43	48.3%
計	89	100.0%
無回答	26	
無効回答	0	
総 計	115	

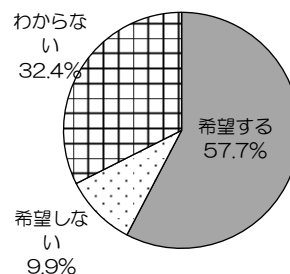
入院施設



問： 仮にあなた又は家族が通院しているとして、もし何かの事情で通院が困難になった場合、自宅に訪問してもらって診療をしてもらうことを希望しますか。

選択項目	回答数	構成比
1 希望する	921	57.7%
2 希望しない	158	9.9%
3 わからない	518	32.4%
計	1,597	100.0%
無回答	226	
無効回答	1	
総 計	1,824	

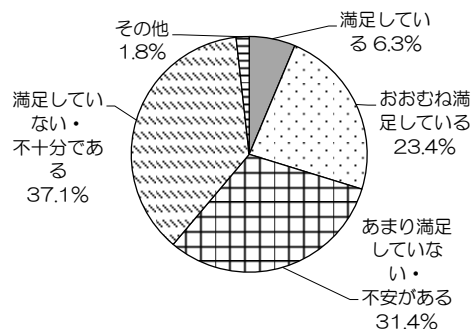
訪問診療の希望



問： あなたは、お住まいの地域の医療環境についてどのように感じていますか。

選択項目	回答数	構成比
1 満足している	110	6.3%
2 おおむね満足している	408	23.4%
3 あまり満足していない・不安がある	546	31.4%
4 満足していない・不十分である	645	37.1%
5 その他	31	1.8%
計	1,740	100.0%
無回答	78	
無効回答	6	
総 計	1,824	

地域の医療環境



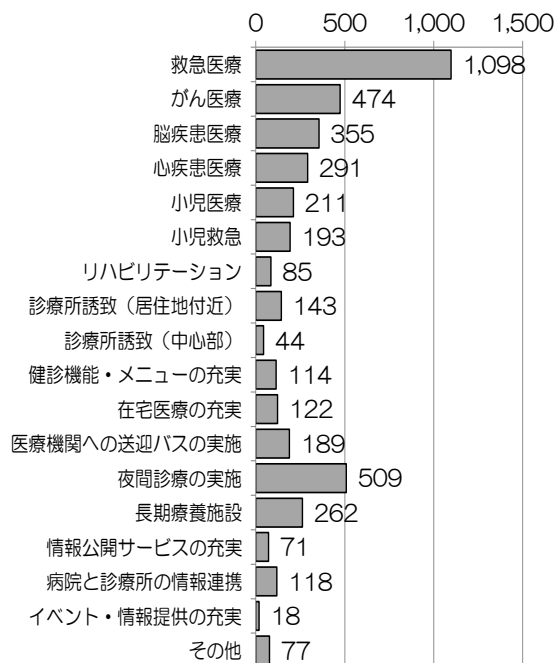
問： 上記設問で「3」または「4」を選んだ方で、そう思われる理由は何ですか。

選択項目	回答数	構成比
1 身近に受診できる医療機関がない	197	17.1%
2 医療機関の質に不安がある	602	52.3%
3 自分や家族にとって必要な高度、専門的な医療ができる医療機関がない	543	47.2%
4 高齢者が必要とする長期入院や回復リハビリテーションができる医療機関が少ない	201	17.5%
5 訪問診療を行ってくれる医療機関が少ない	75	6.5%
6 救急医療機関が少なく、急な病気やケガが不安である	664	57.7%
7 小児科を受診できる医療機関が少なく、子供の病気やケガが不安である	106	9.2%
8 産婦人科を受診できる医療機関が少なく、妊娠出産に不安がある	106	9.2%
9 夜間や休日に受診できる医療機関が身近にない	360	31.3%
10 その他	58	5.0%
計	2,388	
回答者数	1,151	
無回答	6	
無効回答	34	
総 計	1,191	

問：神栖市の医療体制において、あなたが充実を希望するものは何ですか。

選択項目	回答数	構成比
1 救急医療	1,098	66.4%
2 がん医療	474	28.7%
3 脳疾患医療	355	21.5%
4 心疾患医療	291	17.6%
5 小児医療	211	12.8%
6 小児救急	193	11.7%
7 リハビリテーション	85	5.1%
8 診療所誘致（居住地付近）	143	8.7%
9 診療所誘致（中心部）	44	2.7%
10 健診機能・メニューの充実	114	6.9%
11 在宅医療の充実	122	7.4%
12 医療機関への送迎バスの実施	189	11.4%
13 夜間診療の実施	509	30.8%
14 長期療養施設	262	15.8%
15 情報公開サービスの充実	71	4.3%
16 病院と診療所の情報連携	118	7.1%
17 イベント・情報提供の充実	18	1.1%
18 その他	77	4.7%
計	4,374	
回答者数	1,653	
無回答	112	
無効回答	59	
総 計	1,824	

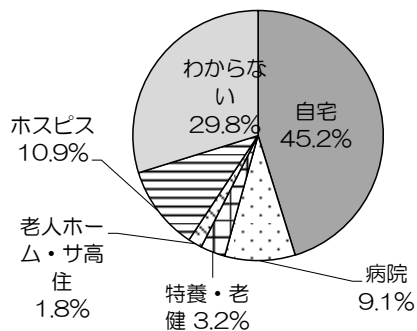
充実を希望する医療体制



問：あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。

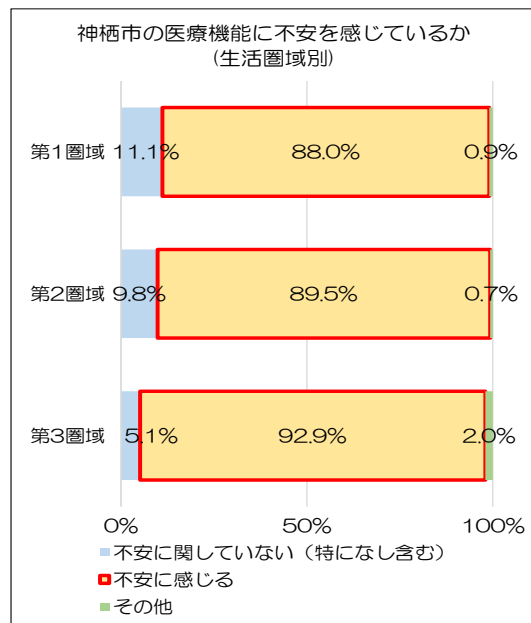
選択項目	回答数	構成比
1 自宅	790	45.2%
2 病院	160	9.1%
3 公的福祉施設（特養・老健）	56	3.2%
4 民間福祉施設（老人ホーム・サ高住）	31	1.8%
5 ホスピス（緩和ケア）	191	10.9%
6 わからない	522	29.8%
計	1,750	100.0%
無回答	55	
無効回答	19	
総 計	1,824	

人生の最期を希望する場所



自由記載集計（抜粋）

回答カテゴリー	第1圏域		第2圏域		第3圏域	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 神栖市内の医療提供体制を充実させてほしい	26	7.0%	27	7.8%	33	11.9%
2 医療機関の機能分担や医療・介護の連携を充実させてほしい	10	2.7%	6	1.7%	4	1.4%
3 総合病院・基幹病院を整備してほしい（誘致してほしい）	32	8.6%	36	10.5%	52	18.8%
4 高度または専門医療を提供できる病院を整備してほしい	14	3.8%	15	4.4%	7	2.5%
5 救急医療（主に救急搬送の応需先）を充実させてほしい	35	9.4%	39	11.3%	25	9.0%
6 夜間や休日の診療体制を整備してほしい	16	4.3%	12	3.5%	9	3.2%
7 小児医療（小児救急体制含む）を充実させてほしい	11	2.9%	18	5.2%	6	2.2%
8 産科・婦人科医療を充実させてほしい	16	4.3%	6	1.7%	4	1.4%
9 回復期または慢性期医療の提供体制を充実させてほしい	23	6.2%	21	6.1%	14	5.1%
10 在宅医療の提供体制や介護施設を充実させてほしい	10	2.7%	6	1.7%	2	0.7%
11 かかりつけ医機能としての診療所を充実させてほしい	5	1.3%	5	1.5%	5	1.8%
12 診療科を充実させてほしい（整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科等）	1	0.3%	2	0.6%	2	0.7%
13 医師不足を解消してほしい（医師の待遇改善・医師育成等の取り組み）	49	13.1%	41	11.9%	26	9.4%
14 医療の質・医療従事者の質を向上させてほしい	22	5.9%	12	3.5%	10	3.6%
15 神栖市内医療機関の医療機器や設備を充実させてほしい	4	1.1%	4	1.2%	5	1.8%
16 病院での待ち時間の長さを改善してほしい	12	3.2%	20	5.8%	8	2.9%
17 病院での予約制を改善してほしい（予約が取りづらい、待ち時間が長い等）	5	1.3%	11	3.2%	1	0.4%
18 医療機関の情報公開サービスを充実させてほしい	11	2.9%	10	2.9%	18	6.5%
19 医療機関への交通手段を充実させてほしい	8	2.1%	5	1.5%	4	1.4%
20 健診等の受診環境を充実してほしい（休日の検診実施、女性技師等）	6	1.6%	3	0.9%	2	0.7%
21 医療費負担を軽減してほしい（児童への医療費助成制度等）	13	3.5%	6	1.7%	6	2.2%
22 医療と介護が充実した、市民が安心して生活できる街づくり	12	3.2%	5	1.5%	9	3.2%
23 現状でよい	2	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
24 その他	30	8.0%	34	9.9%	24	8.7%
計	373	100.0%	344	100.0%	277	100.0%



2. 企業アンケート調査

(1) 調査の目的

この企業意識調査は、神之池東部・西部地区、南海浜地区、波崎地区、高松地区のコンビナート・工業団地に属する企業を対象に実施し、企業の皆様が神栖市の医療体制に関してどのようなお考えをお持ちなのかをお伺いしています。

これにより、従業員の皆様が健康かつ安全・安心な生活を送っていただくための施策の一環として「神栖市地域医療体制」を検討することを目的に実施するものです。

(2) 調査の方法

①調査対象者	コンビナート・工業団地に属する企業
②標本数	197施設
③抽出方法	全施設に調査を依頼
④実施時期	・調査票の設計：令和元年11月 ・調査の実施：令和元年11月28日（木）～令和元年12月12日（木） （回収期限 令和元年12月24日） ・集計分析：令和元年12月～令和2年1月
⑤配布回収方法	郵送配布・郵送回収
⑥実施主体	神栖市健康福祉部地域医療推進課

(3) 回収結果

総回収数	124票
有効回収数	123票
有効回収率	62.4%

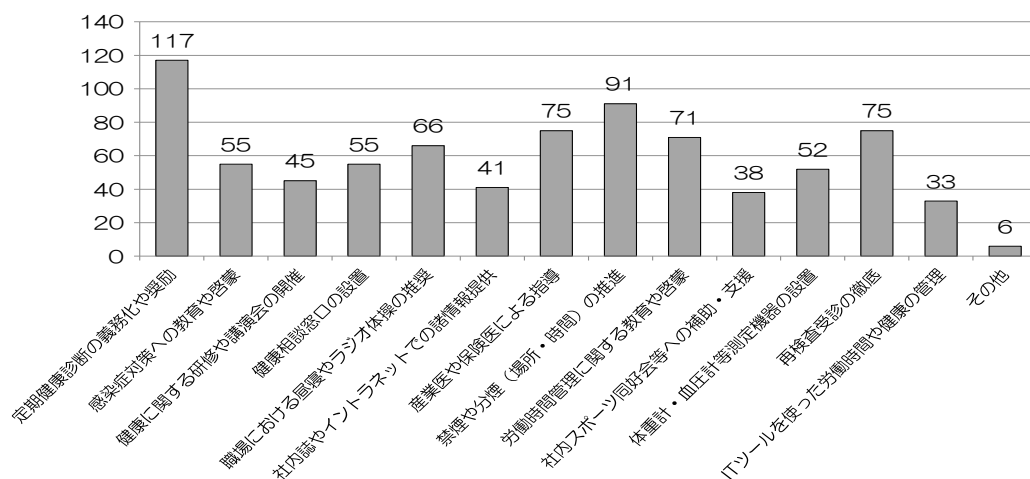
※無効回答 1 件…系列会社の回答に準ずるとの記載があり、無記入だったため。

(4) 調査結果（抜粋）

問：従業員の健康管理の取り組みについて、実施している内容がありますか。

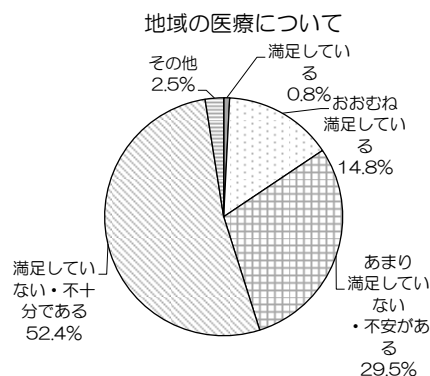
選択項目	回答数	構成比
1 定期健康診断の義務化や奨励	117	96.7%
2 感染症対策への教育や啓蒙	55	45.5%
3 健康に関する研修や講演会の開催	45	37.2%
4 健康相談窓口の設置	55	45.5%
5 職場における昼寝やラジオ体操の推奨	66	54.5%
6 社内誌やイントラネットでの諸情報提供	41	33.9%
7 産業医や保険医による指導	75	62.0%
8 禁煙や分煙（場所・時間）の推進	91	75.2%
9 労働時間管理に関する教育や啓蒙	71	58.7%
10 社内スポーツ同好会等への補助・支援	38	31.4%
11 体重計・血圧計等測定機器の設置	52	43.0%
12 再検査受診の徹底	75	62.0%
13 ITツールを使った労働時間や健康の管理	33	27.3%
14 その他	6	5.0%
計	820	
回答者数	121	
無回答	2	
無効回答	0	
総 計	123	

従業員の健康管理



問：御社の所在する地域の医療をどのように感じていますか。

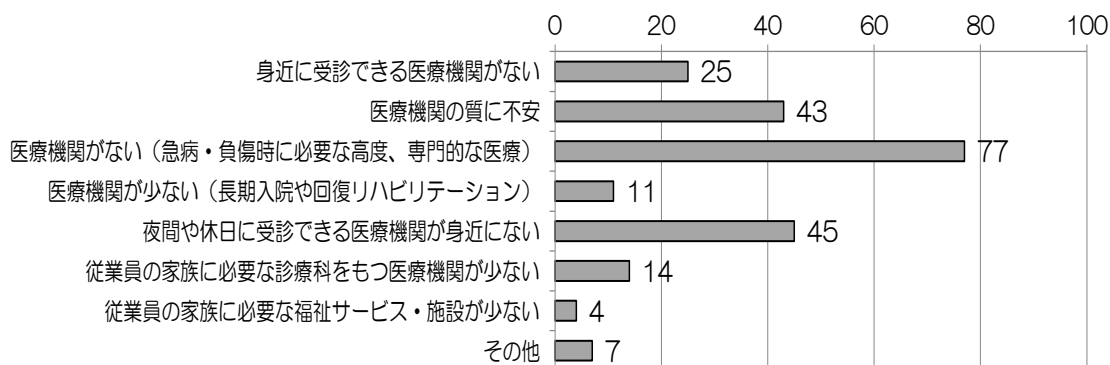
選択項目	回答数	構成比
1 満足している	1	0.8%
2 おおむね満足している	18	14.8%
3 あまり満足していない・不安がある	36	29.5%
4 満足していない・不十分である	64	52.4%
5 その他	3	2.5%
計	122	100.0%
無回答	1	
無効回答	0	
総 計	123	



問：上記設問で「3」または「4」を選んだ方で、そう思われる理由は何ですか。（該当するものを3つまで選択）

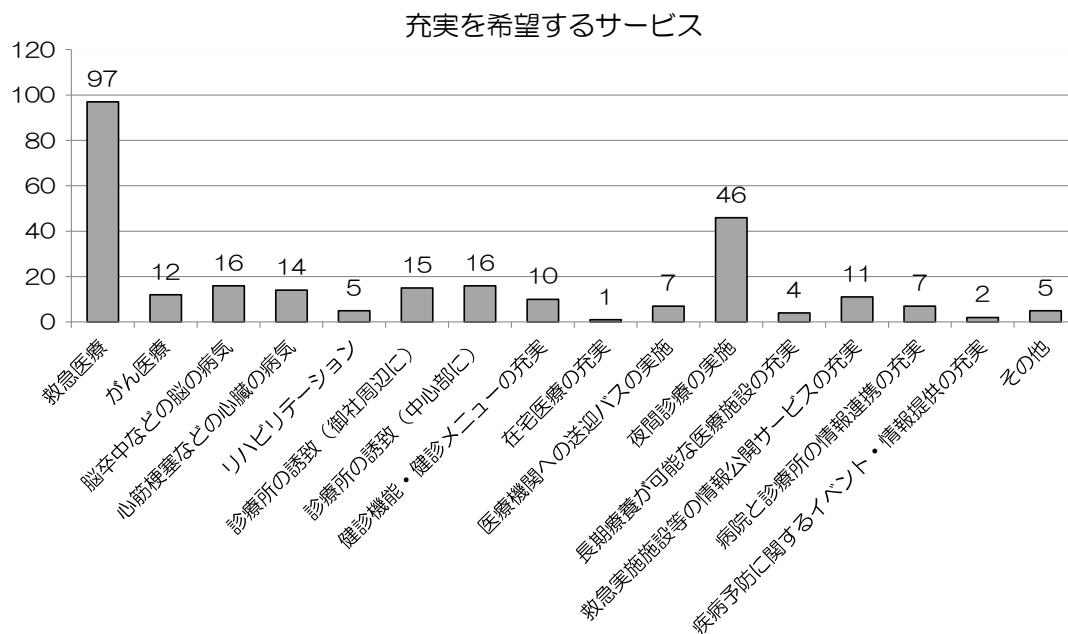
選択項目	回答数	構成比
1 身近に受診できる医療機関がない	25	26.6%
2 医療機関の質に不安がある	43	45.7%
3 急病・負傷時に必要な高度、専門的な医療ができる医療機関がない	77	81.9%
4 長期入院や回復リハビリテーションができる医療機関が少ない	11	11.7%
5 夜間や休日に受診できる医療機関が身近にない	45	47.9%
6 従業員の家族にとって必要とする診療科を受診できる医療機関が少ない	14	14.9%
7 従業員の家族にとって必要とする福祉サービス・施設が少ない	4	4.3%
8 その他	7	7.4%
計	226	
回答者数	94	
無回答	0	
無効回答	6	
総 計	100	

地域医療に不安・不満を感じる理由



問：神栖市の医療体制において、御社が充実を希望するものは何ですか。企業として必要だと思われる機能をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 救急医療	97	85.1%
2 がん医療	12	10.5%
3 脳卒中などの脳の病気	16	14.0%
4 心筋梗塞などの心臓の病気	14	12.3%
5 リハビリテーション	5	4.4%
6 診療所の誘致（御社周辺に）	15	13.2%
7 診療所の誘致（中心部に）	16	14.0%
8 健診機能・健診メニューの充実	10	8.8%
10 在宅医療の充実	1	0.9%
11 医療機関への送迎バスの実施	7	6.1%
12 夜間診療の実施	46	40.4%
13 長期療養が可能な医療施設の充実	4	3.5%
14 救急実施施設等の情報公開サービスの充実	11	9.6%
15 病院と診療所の情報連携の充実	7	6.1%
16 疾病予防に関するイベント・情報提供の充実	2	1.8%
17 その他	5	4.4%
計	268	
回答者数	114	
無回答	2	
無効回答	7	
総 計	123	



3. 医療機関アンケート調査

(1) 調査の目的

この医療機関意識調査は、市内に所在する医療機関を対象に実施し、現在提供している医療機能や他施設との連携、今後の展望等についてお伺いしています。

これにより、市民の皆様が健康かつ安全・安心な生活を送っていただくための施策の一環として「神栖市地域医療体制」を検討することを目的に実施するものです。

(2) 調査の方法

1調査対象者	神栖市に所在する医療機関32施設
2標本数	32施設
3抽出方法	全施設に調査を依頼
4実施時期	- 調査票の設計：令和元年11月 - 調査の実施：令和元年11月28日（木）～令和元年12月12日（木） （回収期限 令和元年12月24日） - 集計分析：令和元年12月～令和2年1月
5配布回収方法	郵送配布・郵送回収
6実施主体	神栖市健康福祉部地域医療推進課

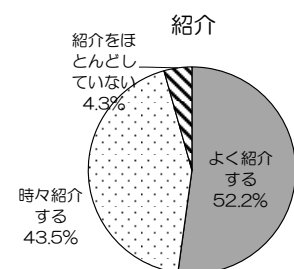
(3) 回収結果

総回収数	23票
有効回収数	23票
有効回収率	71.9%

(4) 調査結果（抜粋）

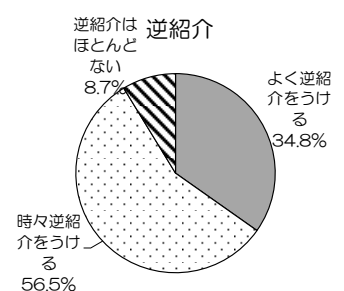
問：他の医療機関との連携（紹介）についてお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 よく紹介する	12	52.2%
2 時々紹介する	10	43.5%
3 紹介をほとんどしていない	1	4.3%
計	23	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総 計	23	



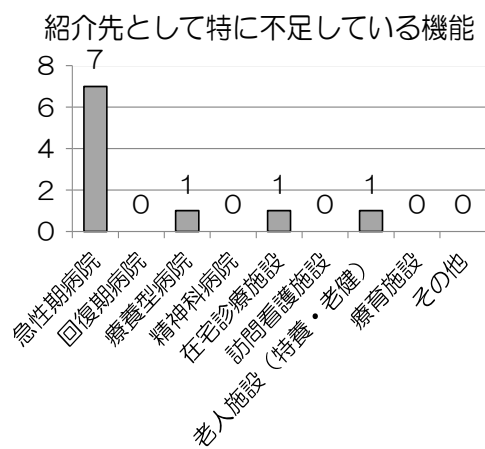
問：他の医療機関との連携（逆紹介）についてお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 よく逆紹介をうける	8	34.8%
2 時々逆紹介をうける	13	56.5%
3 逆紹介はほとんどない	2	8.7%
計	23	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総 計	23	



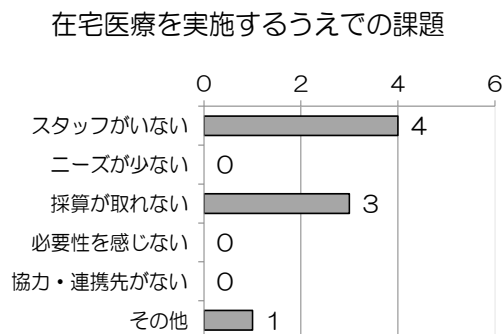
問：紹介先として、特に不足していると感じる機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 急性期病院	7	100.0%
2 回復期病院	0	0.0%
3 療養型病院	1	14.3%
4 精神科病院	0	0.0%
5 在宅診療施設	1	14.3%
6 訪問看護施設	0	0.0%
7 老人施設（特養・老健）	1	14.3%
8 療育施設	0	0.0%
9 その他	0	0.0%
計	10	
回答者数	7	
無回答	0	
無効回答	0	
総 計	7	



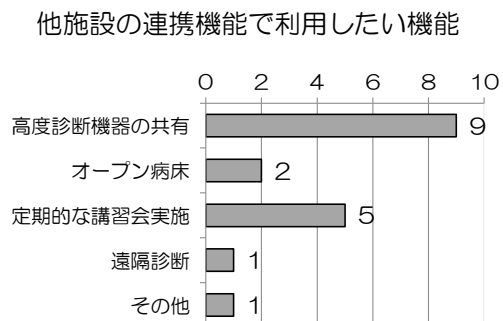
問：在宅医療を実施するにあたって、課題となることをお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 スタッフがいない	4	66.7%
2 ニーズが少ない	0	0.0%
3 採算が取れない	3	50.0%
4 必要性を感じない	0	0.0%
5 協力・連携先がない	0	0.0%
6 その他	1	16.7%
計	8	
回答者数	6	
無回答	0	
無効回答	0	
総 計	6	



問：貴院の課題解決のために、他施設の連携機能で利用したい機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 CTなどの高度診断機器の共有	9	69.2%
2 オープン病床	2	15.4%
3 定期的な連携先との講習会実施	5	38.5%
4 遠隔診断	1	7.7%
5 その他	1	7.7%
計	18	
回答者数	13	
無回答	10	
無効回答	0	
総 計	23	



受託事業者
株式会社システム環境研究所